

広島市安全なまちづくりに関する
地域防犯活動団体アンケート調査
報 告 書

令和7年3月

広島市市民局市民安全推進課

目 次

I	調査の概要	3
1	調査目的	3
2	調査の方法	3
3	回収状況	3
4	報告書の見方	3
II	調査結果	7
	回答団体の属性について	7
問4	活動目的	9
問5	活動内容	11
問6	主な活動場所	13
問7	活動頻度	15
問8	以前と比べた活動頻度	17
問9	活動頻度が増えた理由	18
問10	活動頻度が減った理由	18
問11	活動を継続するうえでの問題点や課題	19
問12	防犯活動を維持するうえでの活動費の有無	21
問13	活動費の確保方法	21
問14	活動費総額	22
問15	防犯活動に必要な資機材	23
問16	現在の活動地域の治安状況	24
問17	以前と比べた活動地域の治安状況	26
問16、問17	活動地域の以前の治安状況と現在の治安状況	28
問18	活動地域の治安が以前と比べて良くなったと感じる理由	29
問19	活動地域の治安が以前と比べて悪くなったと感じる理由	30
問20	活動地域において起こるかもしれないと不安を感じる犯罪	31
問21	活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所	33
問22	地域住民が犯罪被害にあわないために心がけるべきこと	35
問23	活動地域の治安を良くするために、強化が必要だと思う行政や警察の取組	37
問24	地域や個人・事業者で取り組む防犯活動に対し、行政や警察がすればよいと思う支援	39
問25	防犯カメラの設置の有無	41
問26	設置している防犯カメラの防犯効果	42
問27	防犯カメラを設置していない理由	42
問28	再犯防止のためには「誰一人取り残さない」社会の実現が大切だと思うか	44
問29	犯罪をした人たちへの立ち直りに協力したいか	46
問30	再犯防止のために必要だと思うこと	48

Ⅲ 自由意見	51
1 行政への意見・要望について	51
2 活動内容について	52
3 その他の意見について	52

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

犯罪の起こりにくい安全なまちをめざして、治安に対する意識や安全・安心なまちづくりに対する意見、要望を把握し、「第4次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画」改定の施策展開の基礎資料とするため調査を実施した。

2 調査の方法

(1) 調査対象

広島市安全なまちづくり功労表彰を受けた地域防犯活動団体 90団体

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(3) 調査時期

令和6年12月11日（水）～令和7年2月7日（金）

3 回収状況

(1) 調査票配布数 90票

(2) 有効回収数 81票 有効回収率 90.0%

4 報告書の見方

(1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。

(2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。

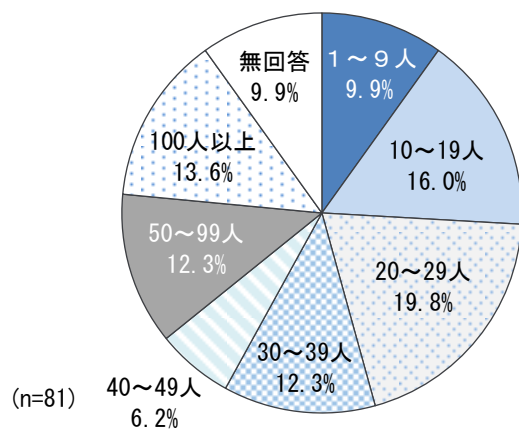
(3) 回答数が20団体以下の回答傾向は記述しないこととする。例外として、活動地区についてはほとんどの地区で回答数が20団体以下のため、全体と比較して回答傾向を記述した。

Ⅱ 調 査 結 果

Ⅱ 調査結果

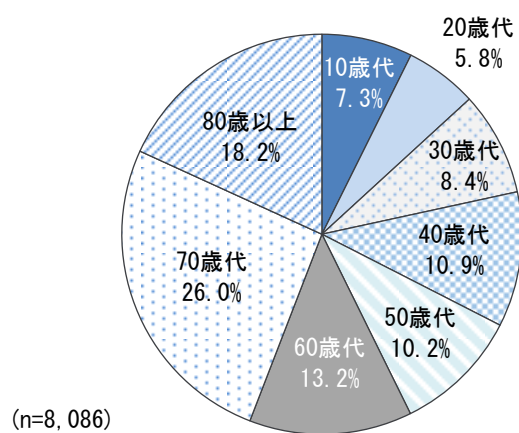
回答団体の属性について

(1) 構成員数



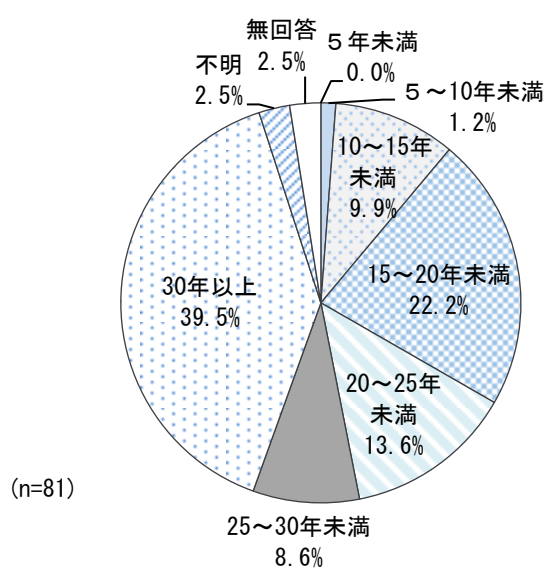
	団体数	(%)
1～9人	8	9.9
10～19人	13	16.0
20～29人	16	19.8
30～39人	10	12.3
40～49人	5	6.2
50～99人	10	12.3
100人以上	11	13.6
無回答	8	9.9
合 計	81	100.0

(2) 構成員の年代



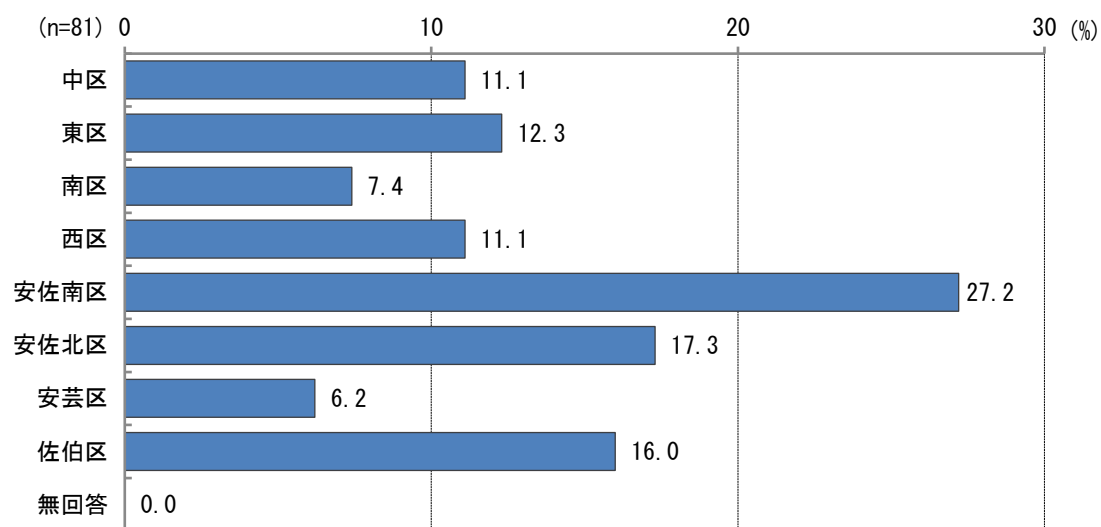
	人数	(%)
10歳代	594	7.3
20歳代	473	5.8
30歳代	679	8.4
40歳代	883	10.9
50歳代	824	10.2
60歳代	1,064	13.2
70歳代	2,099	26.0
80歳以上	1,470	18.2
合 計	8,086	100.0

(3) 活動年数

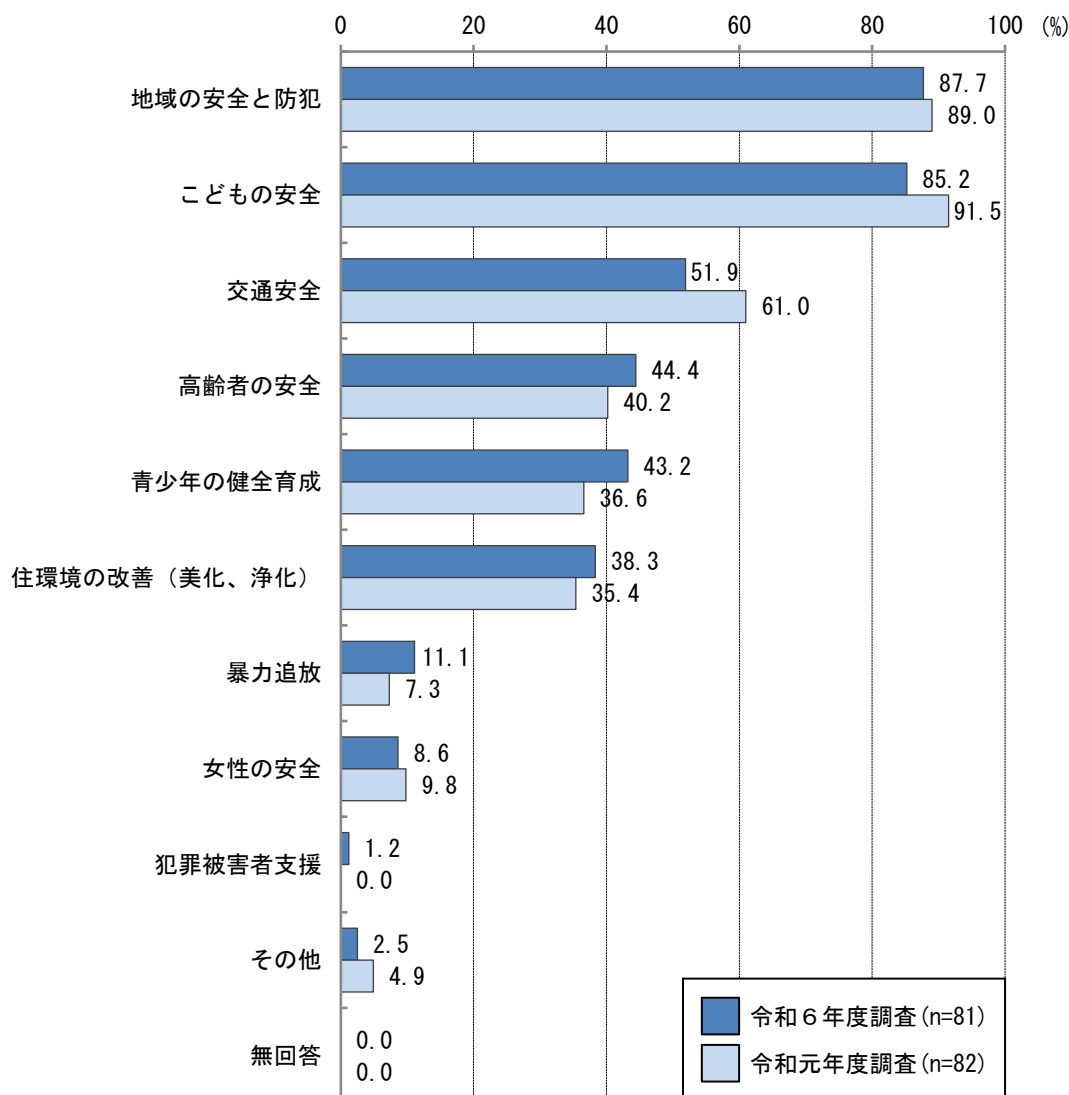


	団体数	(%)
5年未満	0	0.0
5～10年未満	1	1.2
10～15年未満	8	9.9
15～20年未満	18	22.2
20～25年未満	11	13.6
25～30年未満	7	8.6
30年以上	32	39.5
不明	2	2.5
無回答	2	2.5
合 計	81	100.0

(4) 活動地区（複数回答）



問4 活動目的はどのようなことですか。(〇は、いくつでも)



活動目的について、「地域の安全と防犯」との回答が87.7%と最も高く、次いで「こどもの安全」(85.2%)、「交通安全」(51.9%)などの順となっている。

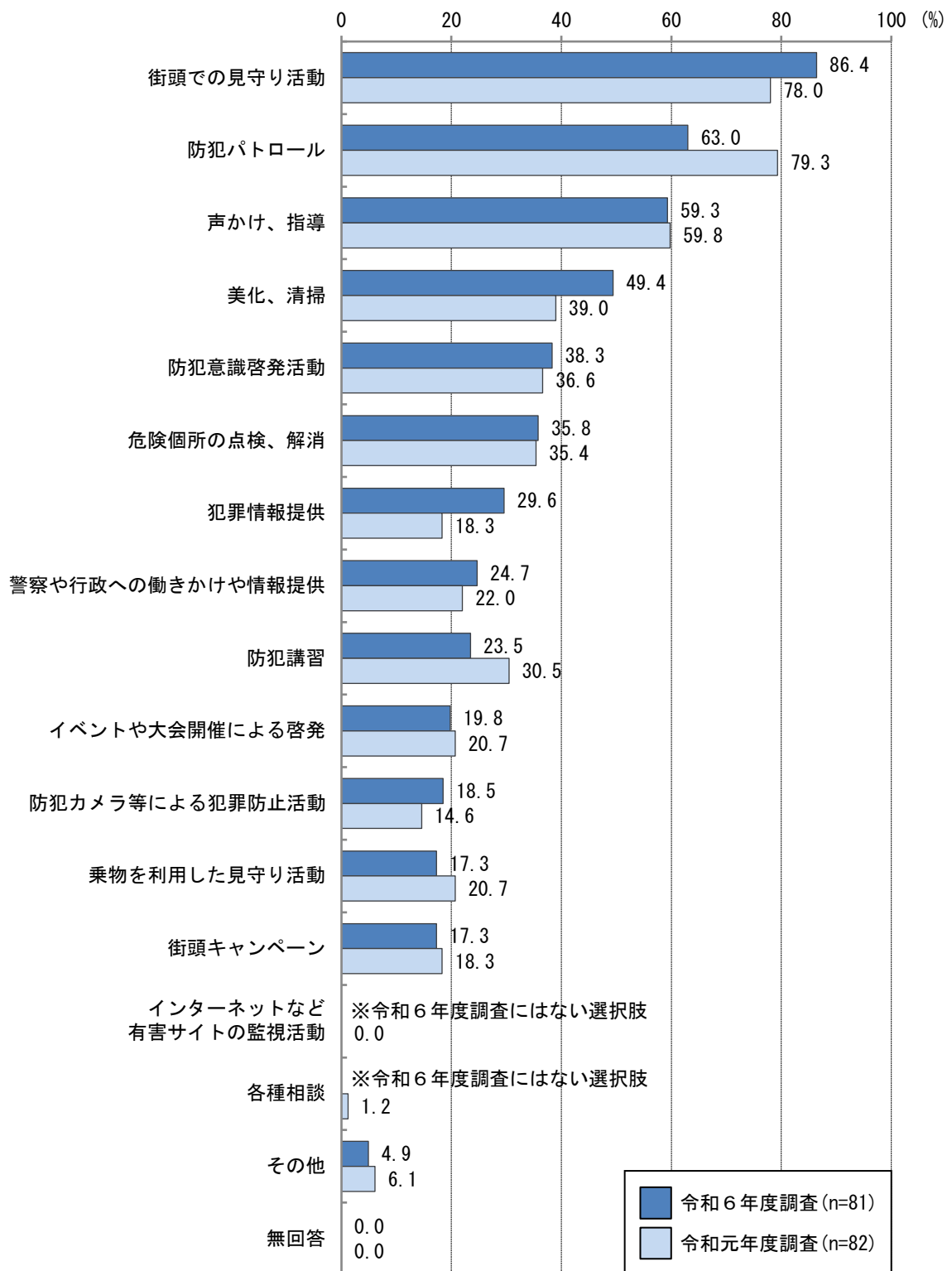
経年比較すると、「青少年の健全育成」との回答は6.6ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「こどもの安全」との回答は6.3ポイント、「交通安全」との回答は9.1ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動目的（活動地区別）】

		件数	地域の安全と防犯	こどもの安全	交通安全	高齢者の安全	青少年の健全育成	住環境の改善（美化、浄化）	暴力追放	女性の安全	(%)
全体		81	87.7	85.2	51.9	44.4	43.2	38.3	11.1	8.6	
活動地区別	中区	9	88.9	88.9	44.4	33.3	55.6	55.6	22.2	－	
	東区	10	80.0	90.0	60.0	60.0	10.0	20.0	－	10.0	
	南区	6	100.0	66.7	33.3	66.7	50.0	50.0	－	－	
	西区	9	88.9	100.0	66.7	66.7	66.7	55.6	11.1	11.1	
	安佐南区	22	95.5	86.4	50.0	31.8	50.0	31.8	13.6	4.5	
	安佐北区	14	71.4	85.7	71.4	50.0	28.6	14.3	21.4	7.1	
	安芸区	5	100.0	60.0	80.0	60.0	20.0	40.0	－	－	
	佐伯区	13	92.3	92.3	46.2	53.8	30.8	38.5	－	23.1	

活動地区別にみると、東区、西区、安佐北区以外の地区で「地域の安全と防犯」との回答が最も高くなっている。また、「交通安全」との回答は安佐北区、安芸区で7割以上、「高齢者の安全」との回答は東区、南区、西区、安芸区で6割台、「青少年の健全育成」との回答は西区で6割台後半と全体と比べ高く、「こどもの安全」との回答は南区、安芸区で6割台、「青少年の健全育成」との回答は東区、安芸区で2割以下、「住環境の改善（美化、浄化）」との回答は安佐北区で1割台半ばと全体と比べ低くなっている。

問5 活動内容はどのようなことですか。(〇は、いくつでも)



活動内容について、「街頭での見守り活動」との回答が86.4%と最も高く、次いで「防犯パトロール」(63.0%)、「声かけ、指導」(59.3%)などの順となっている。

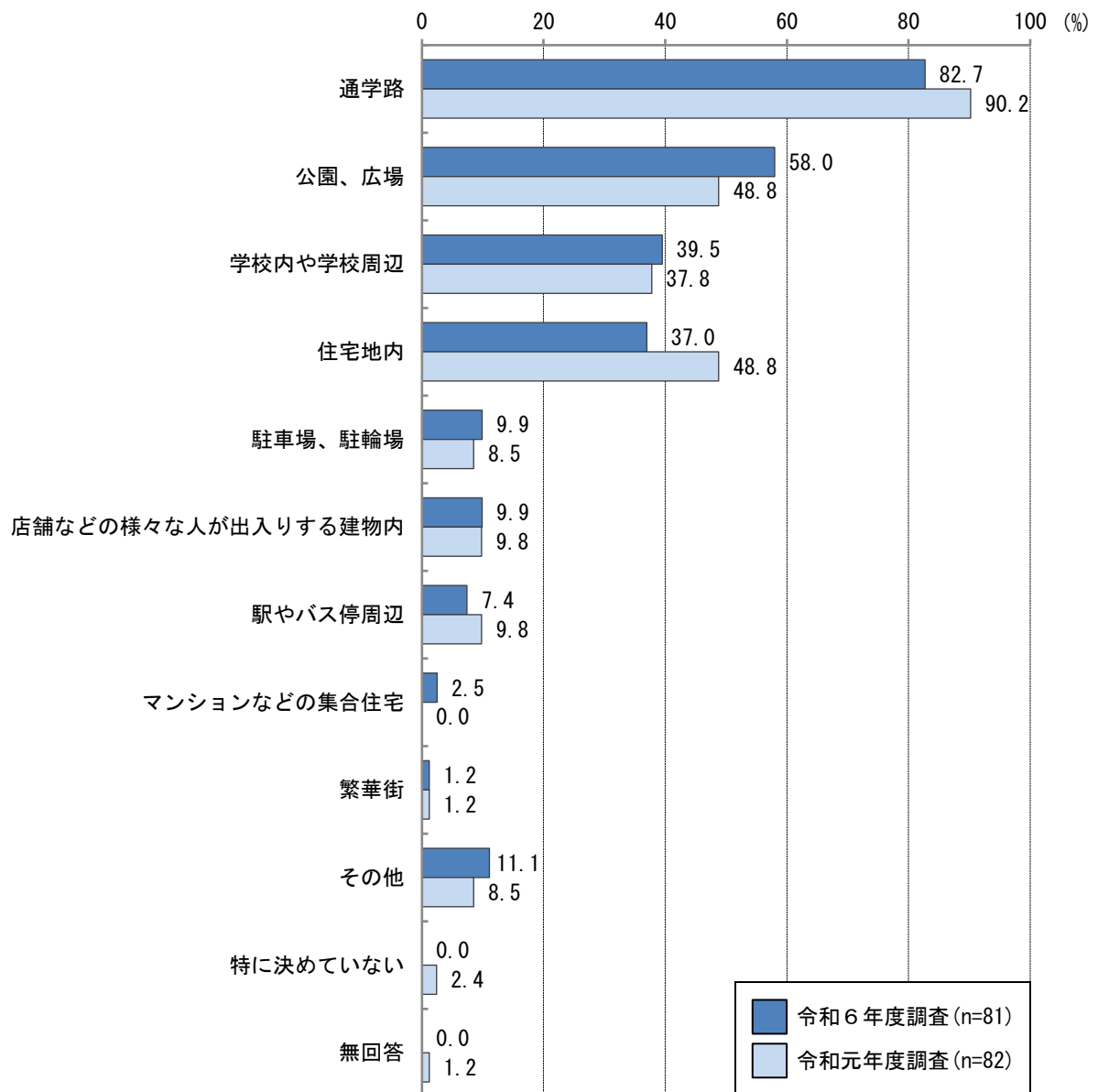
経年比較すると、「街頭での見守り活動」との回答は8.4ポイント、「美化、清掃」との回答は10.4ポイント、「犯罪情報提供」との回答は11.3ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「防犯パトロール」との回答は16.3ポイント、「防犯講習」との回答は7.0ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動内容（活動地区別）】

		(%)								
		件数	街頭での見守り活動	防犯パトロール	声かけ、指導	美化、清掃	防犯意識啓発活動	危険個所の点検、解消	犯罪情報提供	警察や行政への働きかけや情報提供
全体		81	86.4	63.0	59.3	49.4	38.3	35.8	29.6	24.7
活動地区別	中区	9	100.0	66.7	77.8	55.6	33.3	55.6	22.2	44.4
	東区	10	80.0	70.0	60.0	30.0	30.0	10.0	20.0	30.0
	南区	6	66.7	50.0	66.7	50.0	16.7	33.3	16.7	33.3
	西区	9	77.8	77.8	55.6	66.7	44.4	44.4	55.6	33.3
	安佐南区	22	95.5	59.1	54.5	36.4	40.9	36.4	36.4	31.8
	安佐北区	14	92.9	42.9	57.1	21.4	35.7	35.7	28.6	21.4
	安芸区	5	100.0	60.0	100.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0
	佐伯区	13	76.9	46.2	61.5	69.2	30.8	23.1	7.7	23.1

活動地区別にみると、すべての地区で「街頭での見守り活動」との回答が最も高くなっている。また、「声かけ、指導」との回答は安芸区で10割と全体と比べ高く、「美化、清掃」との回答は安佐北区で2割台前半、「防犯意識啓発活動」との回答は南区で1割台半ば、「危険個所の点検、解消」との回答は東区で1割、「犯罪情報提供」との回答は佐伯区で1割以下と全体と比べ低くなっている。

問6 主な活動場所はどこですか。(〇は、3つ以内)



主な活動場所について、「通学路」との回答が82.7%と最も高く、次いで「公園、広場」(58.0%)、「学校内や学校周辺」(39.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「公園、広場」との回答は9.2ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「通学路」との回答は7.5ポイント、「住宅地内」との回答は11.8ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

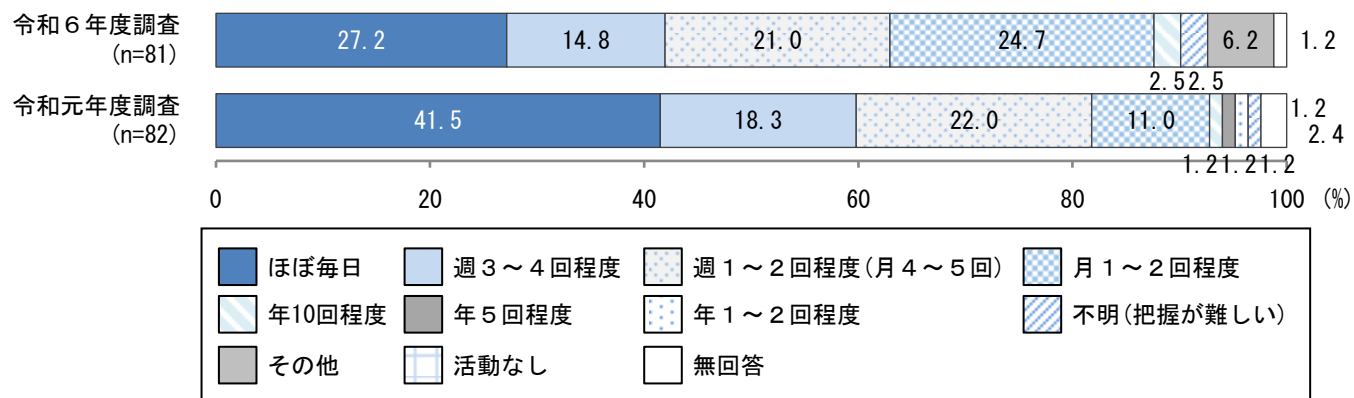
【主な活動場所（活動地区別）】

(%)

		件数	通学路	公園、広場	学校内や学校周辺	住宅地内	駐車場、駐輪場	店舗などの様々人が出入りする建物内	駅やバス停周辺	マンションなどの集合住宅
全体		81	82.7	58.0	39.5	37.0	9.9	9.9	7.4	2.5
活動地区別	中区	9	77.8	77.8	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	－
	東区	10	90.0	40.0	60.0	30.0	－	－	10.0	10.0
	南区	6	50.0	66.7	50.0	50.0	－	16.7	16.7	－
	西区	9	88.9	66.7	44.4	66.7	11.1	－	22.2	－
	安佐南区	22	90.9	45.5	36.4	36.4	4.5	9.1	13.6	4.5
	安佐北区	14	85.7	42.9	42.9	28.6	21.4	14.3	14.3	－
	安芸区	5	80.0	60.0	60.0	20.0	－	－	20.0	－
	佐伯区	13	84.6	53.8	46.2	15.4	7.7	7.7	15.4	－

活動地区別にみると、南区以外で「通学路」との回答が最も高くなっている。また、「学校内や学校周辺」との回答は東区、安芸区で6割と全体と比べ高く、「住宅地内」との回答は西区で6割台後半と全体と比べ高く、佐伯区で1割台半ばと全体と比べ低くなっている。

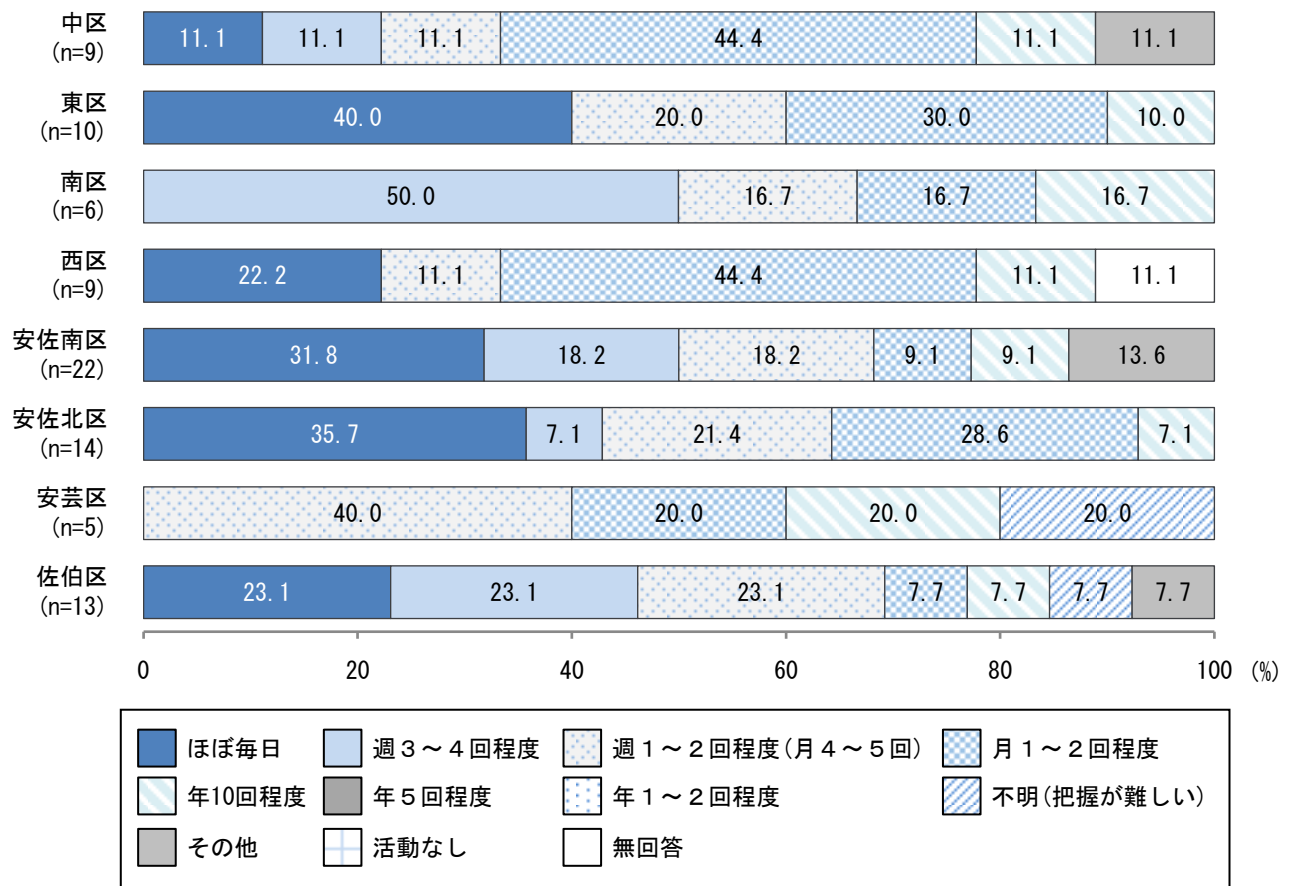
問7 昨年1年間における活動頻度はどれくらいですか。(〇は、1つ)



活動頻度について、「ほぼ毎日」との回答が27.2%と最も高く、次いで「月1～2回程度」(24.7%)、「週1～2回程度(月4～5回)」(21.0%)などの順となっている。

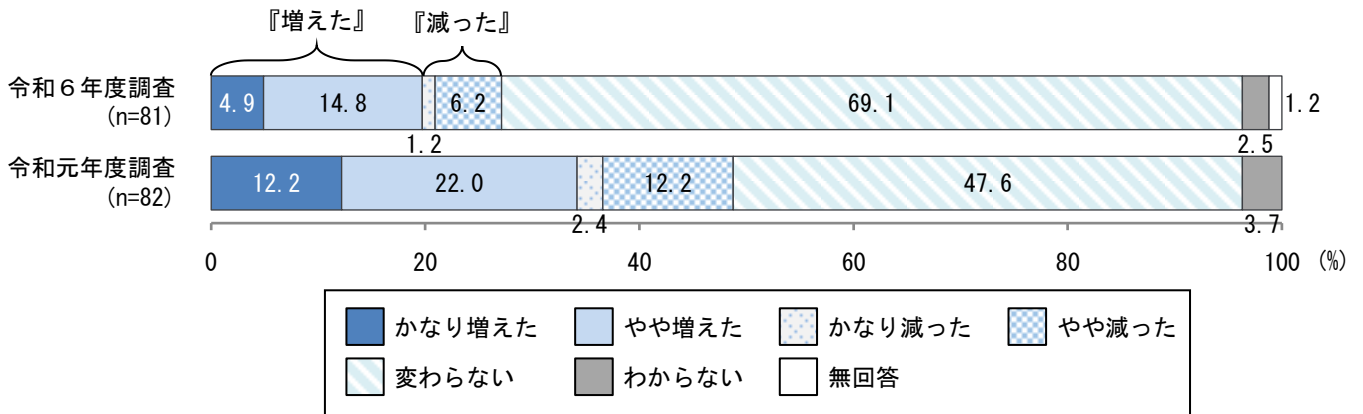
経年比較すると、「月1～2回程度」との回答は13.7ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「ほぼ毎日」との回答は14.3ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動頻度（活動地区別）】



活動地区別にみると、東区、安佐南区、安佐北区で「ほぼ毎日」、南区で「週3～4回程度」、安芸区で「週1～2回程度（月4～5回）」、中区、西区で「月1～2回程度」との回答が最も高く、佐伯区では「ほぼ毎日」、「週3～4回程度」、「週1～2回程度（月4～5回）」との回答がいずれも2割台前半となっている。

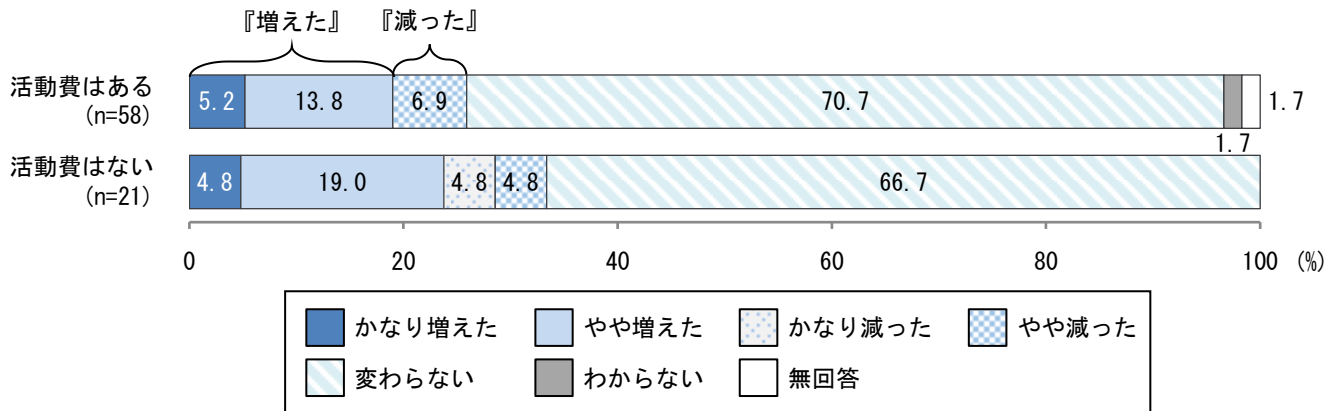
問8 以前（概ね5年前）と比べて、活動頻度はどうですか。（〇は、1つ）



以前と比べた活動頻度について、『増えた』（「かなり増えた」と「やや増えた」を合計した割合）との回答は19.7%、『減った』（「かなり減った」と「やや減った」を合計した割合）との回答は7.4%、「変わらない」との回答は69.1%となっている。

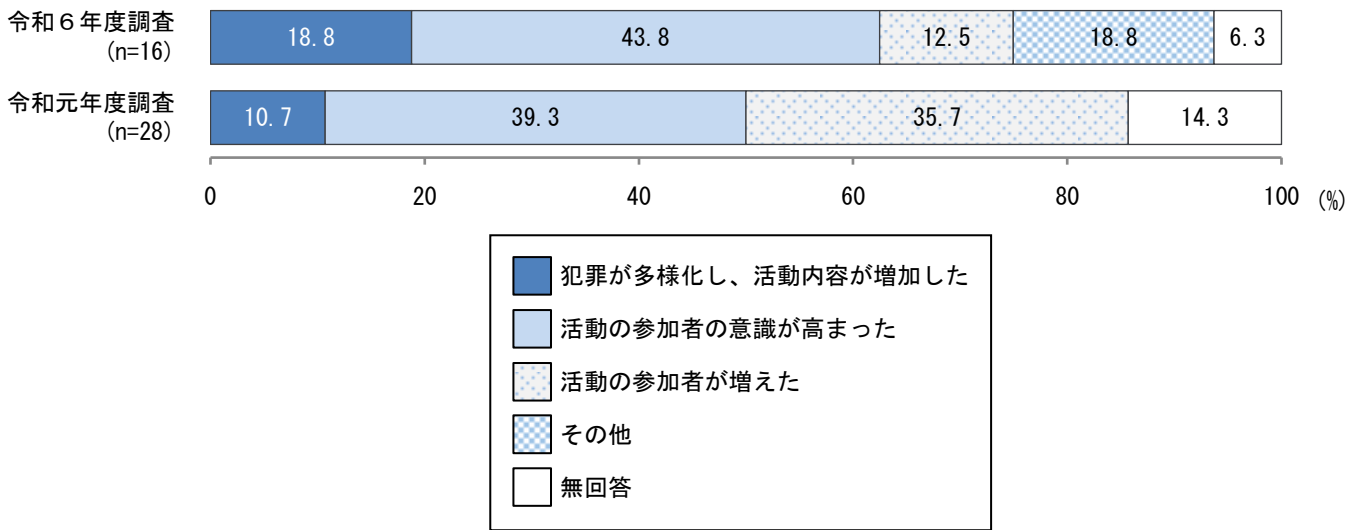
経年比較すると、「変わらない」との回答は21.5ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、『増えた』との回答は14.5ポイント、『減った』との回答は7.2ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【以前と比べた活動頻度（活動費の有無別）】



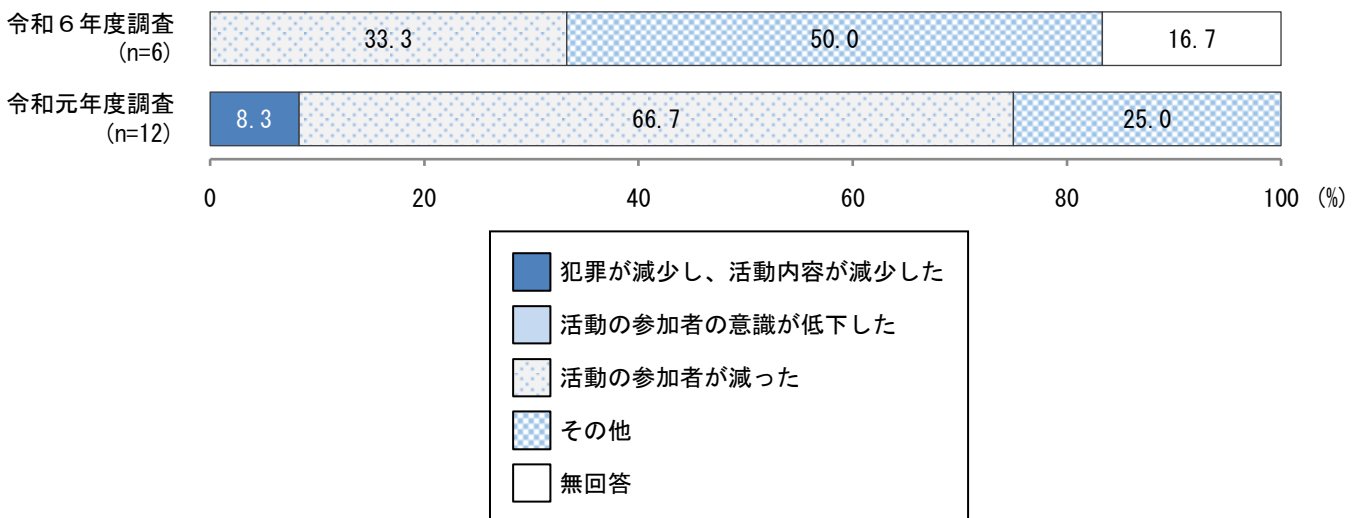
活動費の有無別にみると、大きな差はみられない。

問9 【問8で「1 かなり増えた」または「2 やや増えた」と回答された団体】
活動頻度が増えた主な理由は何ですか。(〇は、1つ)



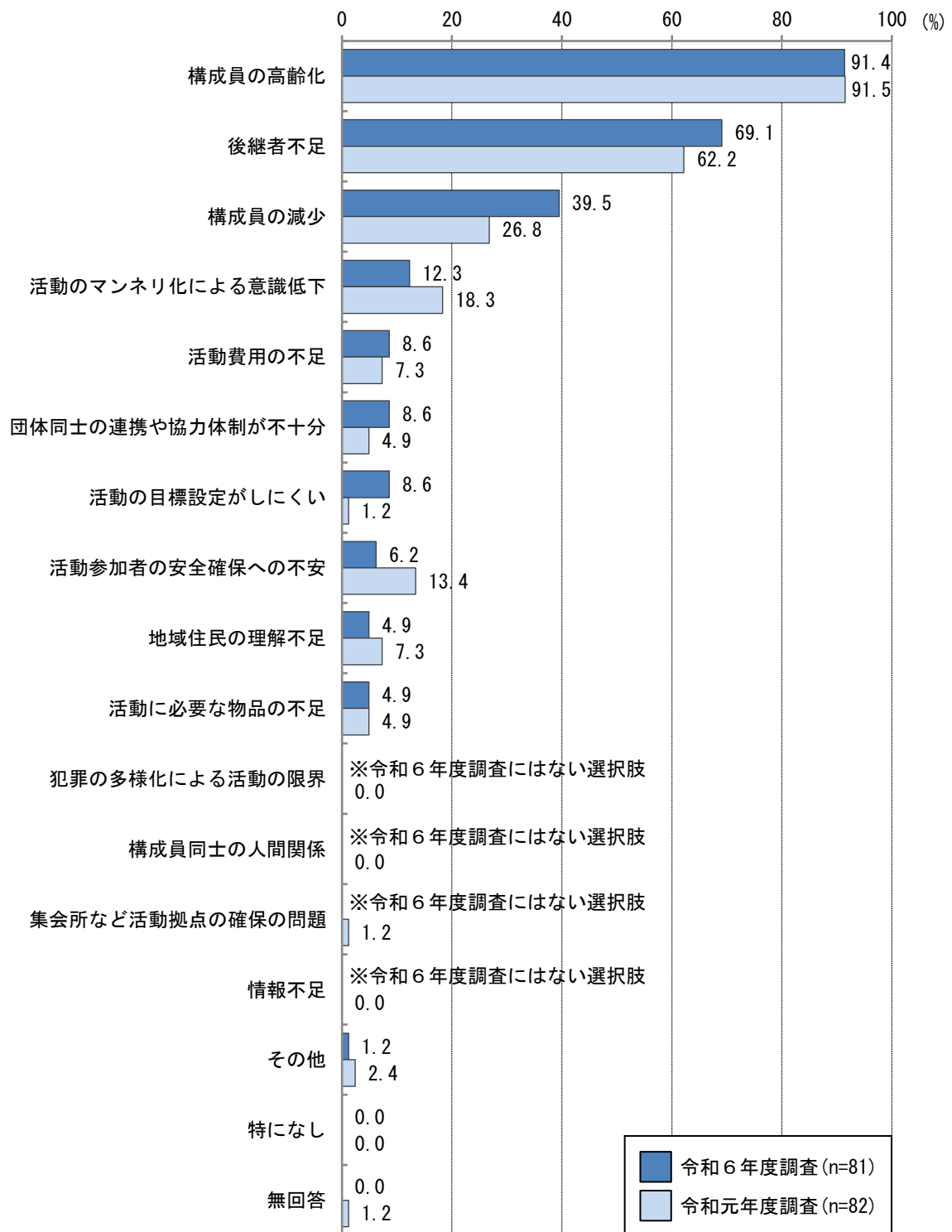
活動頻度が増えた理由について、回答団体数が少ないため、回答傾向は記述しない。

問10 【問8で「3 かなり減った」または「4 やや減った」と回答された団体】
活動頻度が減った主な理由は何ですか。(〇は、1つ)



活動頻度が減った理由について、回答団体数が少ないため、回答傾向は記述しない。

問11 貴団体が活動を継続するうえで、抱えておられる問題点や課題はどのようなことですか。
(○は、3つ以内)



活動を継続するうえでの問題点や課題について、「構成員の高齢化」との回答が91.4%と最も高く、次いで「後継者不足」(69.1%)、「構成員の減少」(39.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「後継者不足」との回答は6.9ポイント、「構成員の減少」との回答は12.7ポイント、「活動の目標設定がしにくい」との回答は7.4ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「活動のマンネリ化による意識低下」との回答は6.0ポイント、「活動参加者の安全確保への不安」との回答は7.2ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動を継続するうえでの問題点や課題（団体規模別）】

(%)

	件数	構成員の高齢化	後継者不足	構成員の減少	活動のマンネリ化による意識低下	活動費用の不足	団体同士の連携や協力体制が不十分	活動の目標設定がしにくい	活動参加者の安全確保への不安
全体	81	91.4	69.1	39.5	12.3	8.6	8.6	8.6	6.2
規模別	1～19人	21	90.5	71.4	38.1	14.3	4.8	4.8	9.5
	20～49人	31	93.5	64.5	35.5	16.1	6.5	6.5	12.9
	50人以上	21	90.5	76.2	47.6	4.8	9.5	19.0	4.8

団体規模別にみると、「構成員の減少」との回答は50人以上の団体で4割台後半と他と比べ高くなっている。

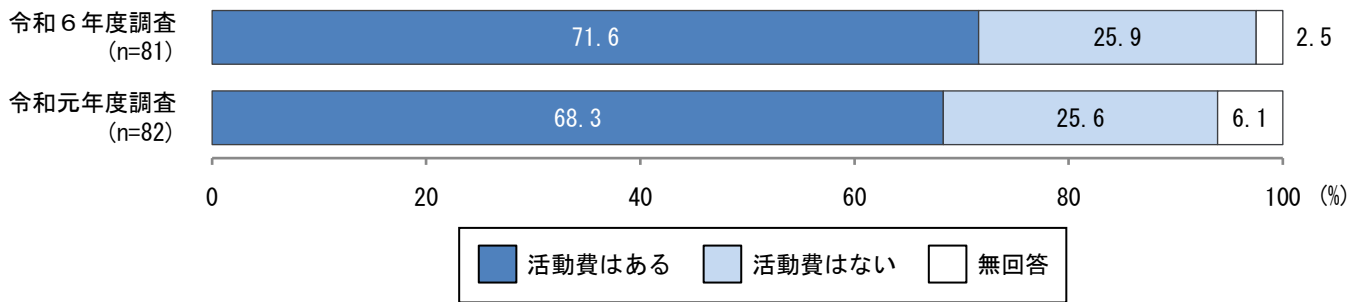
【活動を継続するうえでの問題点や課題（活動地区別）】

(%)

	件数	構成員の高齢化	後継者不足	構成員の減少	活動のマンネリ化による意識低下	活動費用の不足	団体同士の連携や協力体制が不十分	活動の目標設定がしにくい	活動参加者の安全確保への不安
全体	81	91.4	69.1	39.5	12.3	8.6	8.6	8.6	6.2
活動地区別	中区	9	66.7	77.8	44.4	22.2	22.2	11.1	33.3
	東区	10	100.0	50.0	60.0	—	20.0	—	10.0
	南区	6	100.0	66.7	16.7	33.3	—	16.7	16.7
	西区	9	100.0	100.0	77.8	11.1	—	11.1	—
	安佐南区	22	90.9	77.3	40.9	9.1	4.5	—	9.1
	安佐北区	14	85.7	57.1	28.6	—	—	7.1	7.1
	安芸区	5	100.0	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	—
	佐伯区	13	100.0	69.2	46.2	15.4	7.7	15.4	—

活動地区別にみると、中区以外の地区で「構成員の高齢化」との回答が最も高くなっている。また、「後継者不足」との回答は西区で10割、「構成員の減少」との回答は西区で7割台後半と全体と比べ高くなっている。

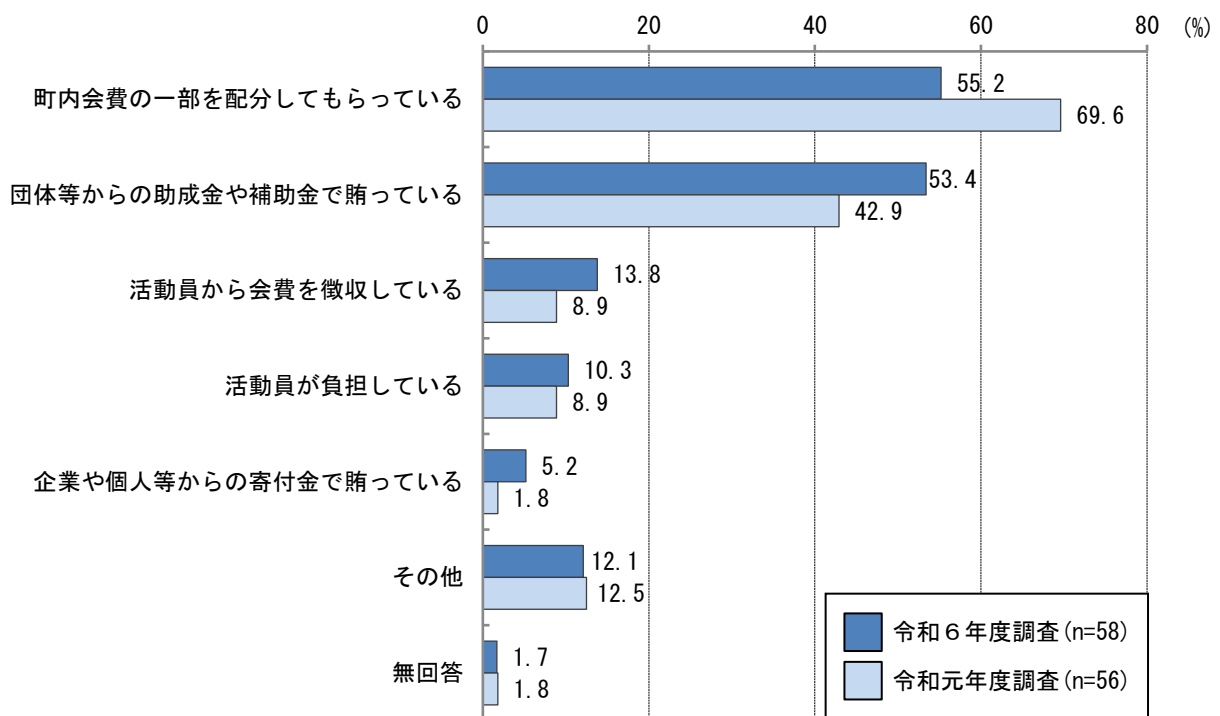
問12 防犯活動を維持するうえでの活動費はどのような状況ですか。(〇は、1つ)



防犯活動を維持するうえでの活動費の有無について、「活動費はある」との回答は71.6%、「活動費はない」との回答は25.9%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

問13 【問12で「1 活動費はある」と回答された団体】
活動費はどのように確保されていますか。(〇は、いくつでも)



活動費の確保方法について、「町内会費の一部を配分してもらっている」との回答が55.2%と最も高く、次いで「団体等からの助成金や補助金で賄っている」(53.4%)、「活動員から会費を徴収している」(13.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「団体等からの助成金や補助金で賄っている」との回答は10.5ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「町内会費の一部を配分してもらっている」との回答は14.4ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

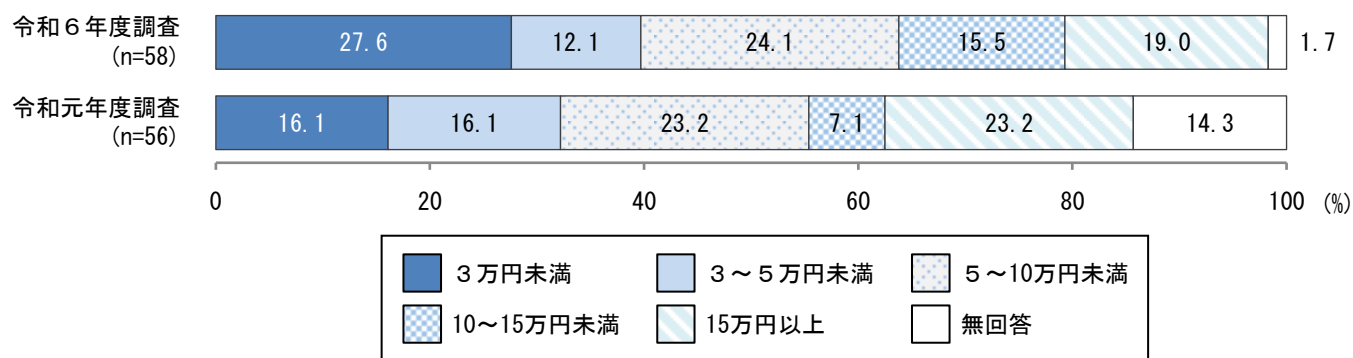
【活動費の確保方法（活動地区別）】

		件数	町内会費の一部を配分している	補助金等からの助成金や団体等からの助成金や	活動員から会費を徴収している	その他	活動員が負担している	企業や個人等からの寄付金で賄っている	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		58	55.2	53.4	13.8	12.1	10.3	5.2	1.7
活動地区別	中区	8	25.0	75.0	12.5	12.5	12.5	-	-
	東区	9	66.7	33.3	-	22.2	-	-	-
	南区	6	50.0	83.3	-	16.7	16.7	33.3	-
	西区	6	50.0	83.3	16.7	-	-	-	-
	安佐南区	13	53.8	61.5	-	-	15.4	7.7	-
	安佐北区	10	60.0	40.0	10.0	10.0	10.0	-	-
	安芸区	4	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0
	佐伯区	9	33.3	66.7	55.6	22.2	11.1	-	-

活動地区別にみると、東区、安佐北区、安芸区以外の地区で「団体等からの助成金や補助金で賄っている」との回答が最も高くなっている。また、「活動員から会費を徴収している」との回答は佐伯区で5割台半ばと全体と比べ高く、「町内会費の一部を配分している」との回答は中区、佐伯区で3割以下と全体と比べ低くなっている。

問14 【問12で「1 活動費はある」と回答された団体】

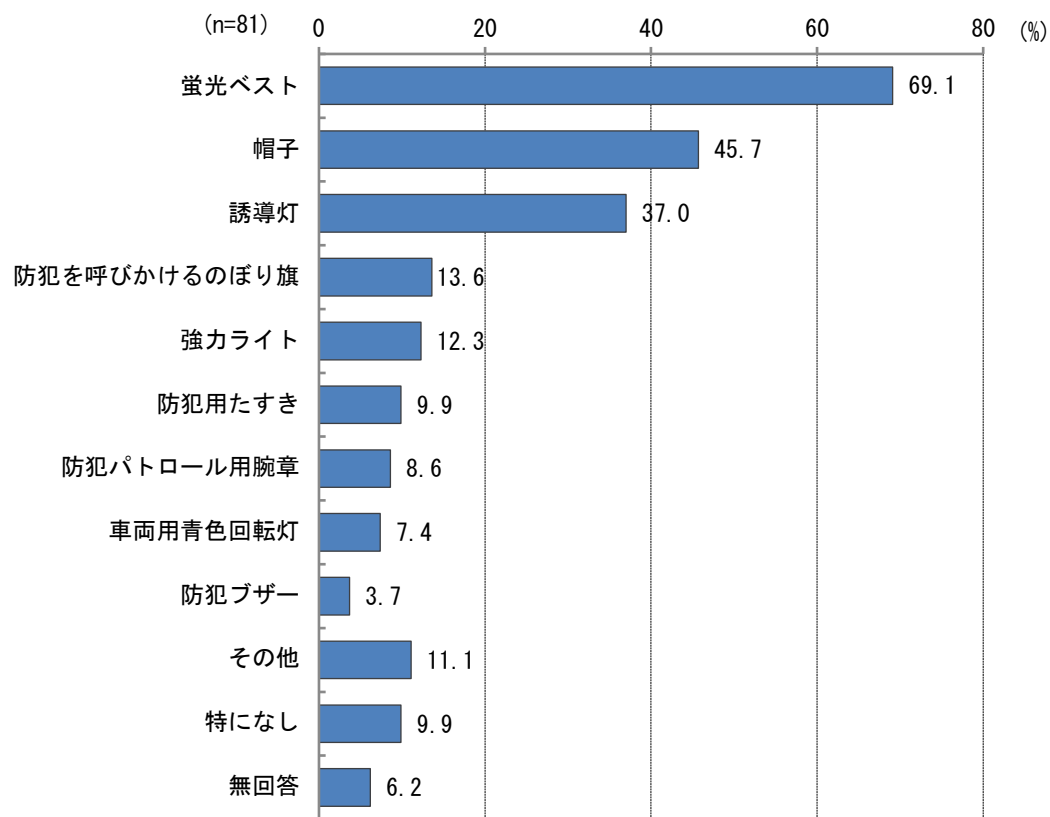
昨年1年間の活動総額は概ねいくらですか。（〇は、1つ）



活動費総額について、「3万円未満」との回答が27.6%と最も高く、次いで「5～10万円未満」(24.1%)、「15万円以上」(19.0%)などの順となっている。

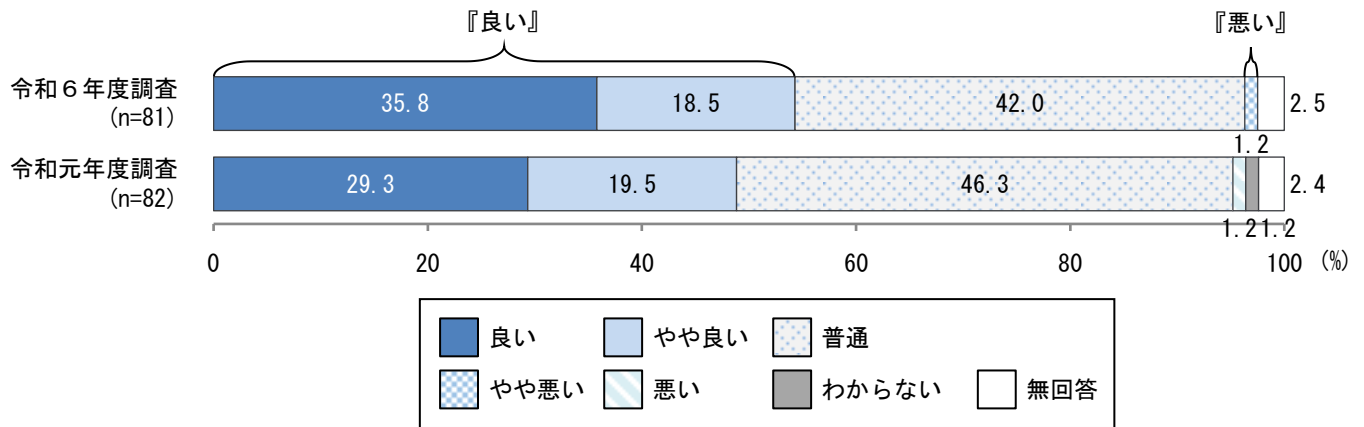
経年比較すると、「3万円未満」との回答は11.5ポイント、「10～15万円未満」との回答は8.4ポイント今回調査が前回調査を上回っている。

問15 貴団体が防犯活動を実施する際に、特に必要な防犯活動用の資機材は何ですか。
(○は、3つ以内)



防犯活動に必要な資機材について、「蛍光ベスト」との回答が 69.1%と最も高く、次いで「帽子」(45.7%)、「誘導灯」(37.0%)などの順となっている。

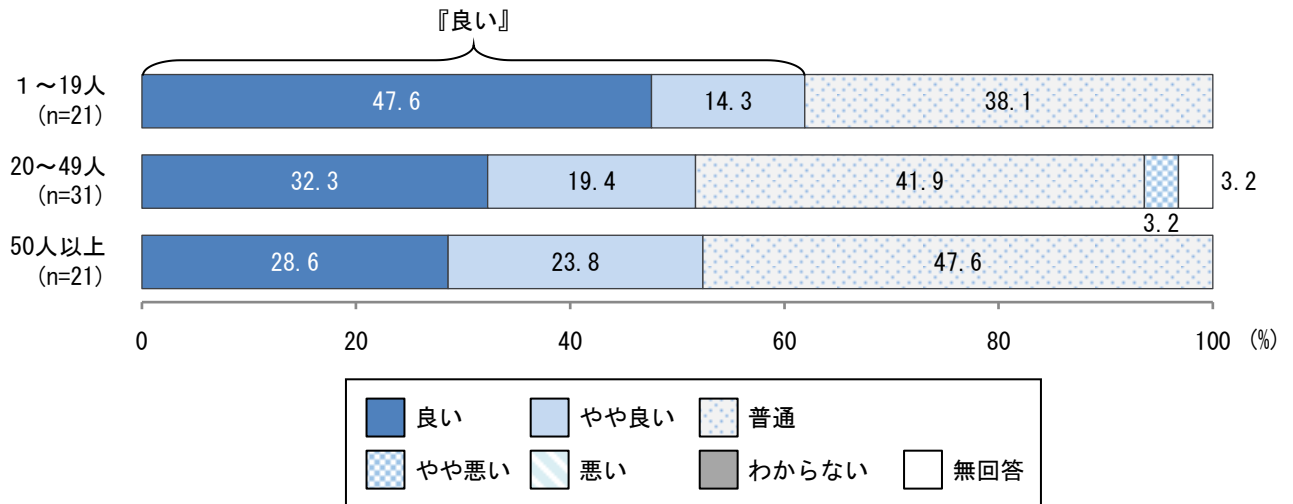
問16 貴団体の活動地域の治安についてどう感じていますか。(〇は、1つ)



現在の活動地域の治安状況について、『良い』（「良い」と「やや良い」を合計した割合）との回答は54.3%、「普通」との回答は42.0%、『悪い』（「悪い」と「やや悪い」を合計した割合）との回答は1.2%となっている。

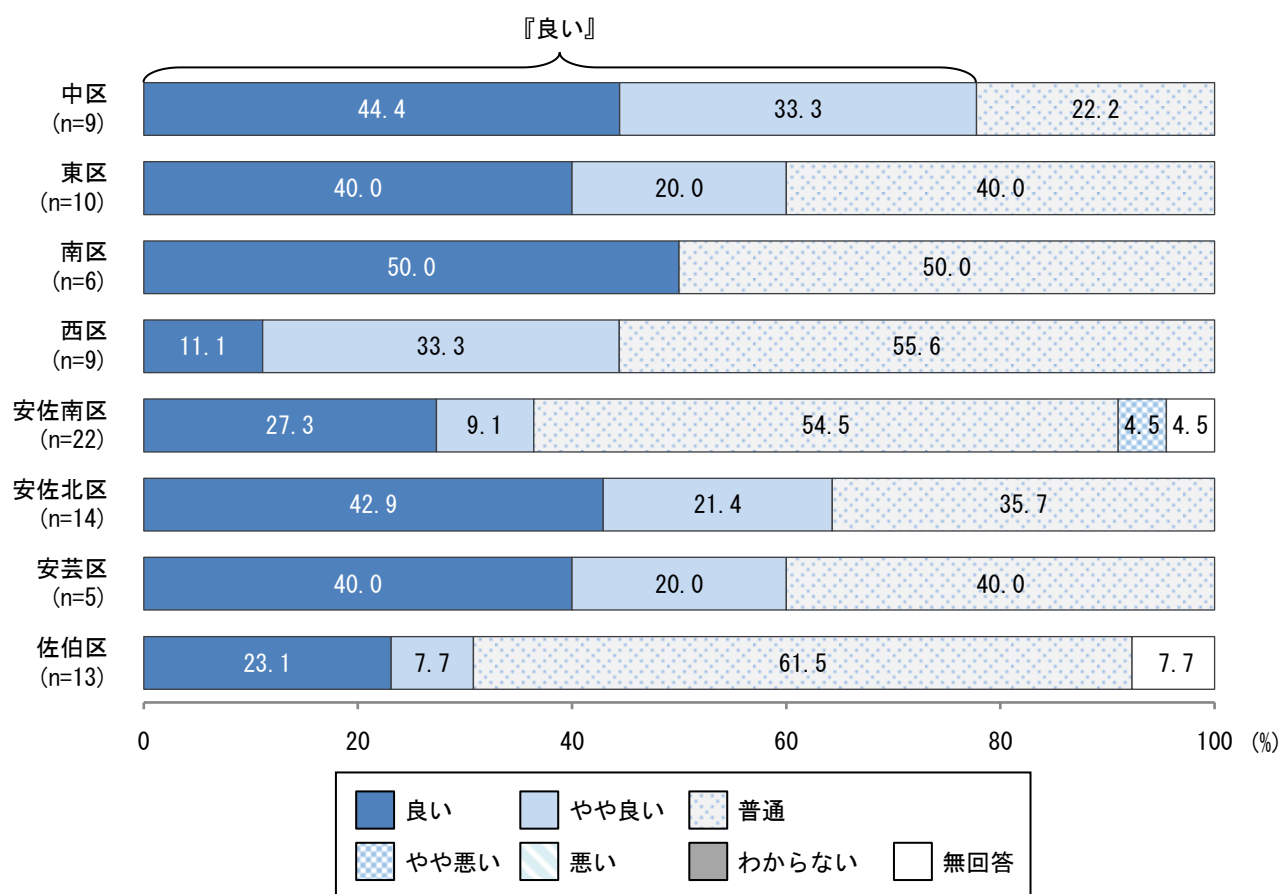
経年比較すると、『良い』との回答は5.5ポイント今回調査が前回調査を上回っている。

【現在の活動地域の治安状況（団体規模別）】



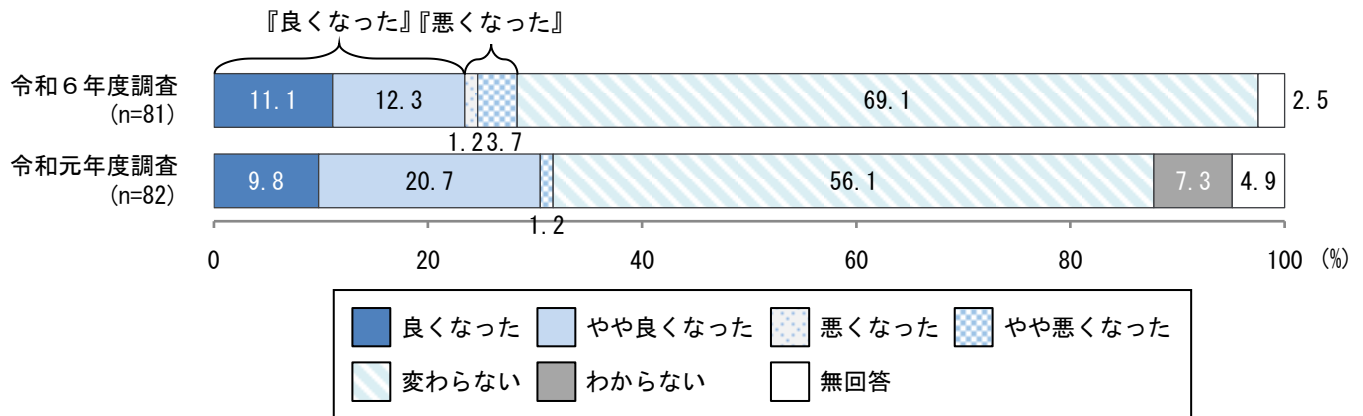
団体規模別にみると、『良い』との回答は1～19人の団体で6割台前半と他と比べ高くなっている。

【現在の活動地域の治安状況（活動地区別）】



活動地区別にみると、『良い』との回答は中区で他の地区と比べ高くなっている。

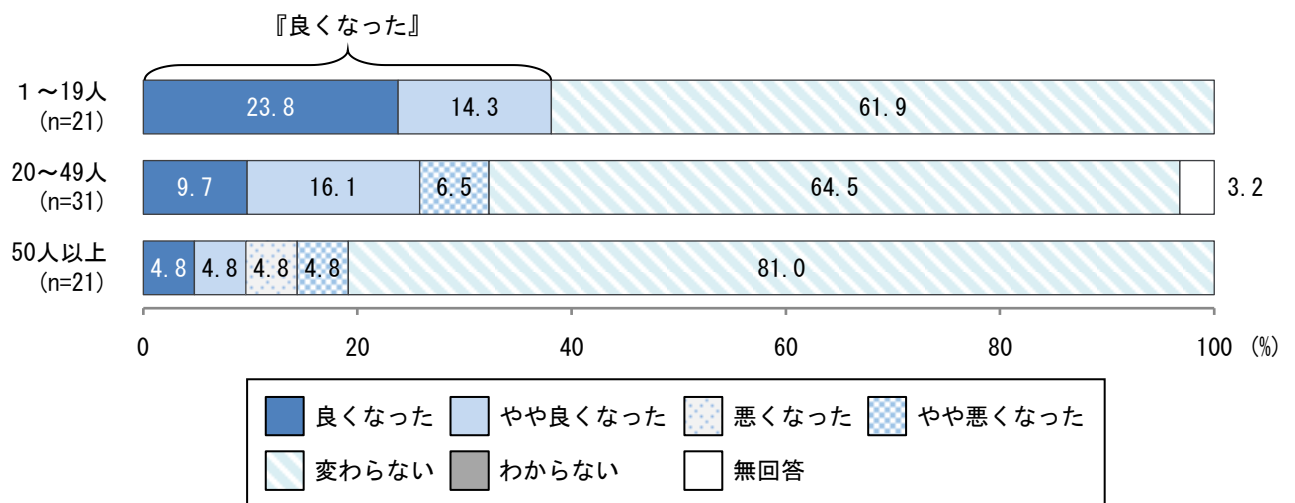
問17 貴団体の活動地域の治安状況について、以前（概ね5年前）と比べてどのように感じますか。（〇は、1つ）



以前と比べた活動地域の治安状況について、『良くなった』（「良くなった」と「やや良くなった」を合計した割合）が23.4%、『悪くなった』（「悪くなった」と「やや悪くなった」を合計した割合）が4.9%、「変わらない」との回答が69.1%となっている。

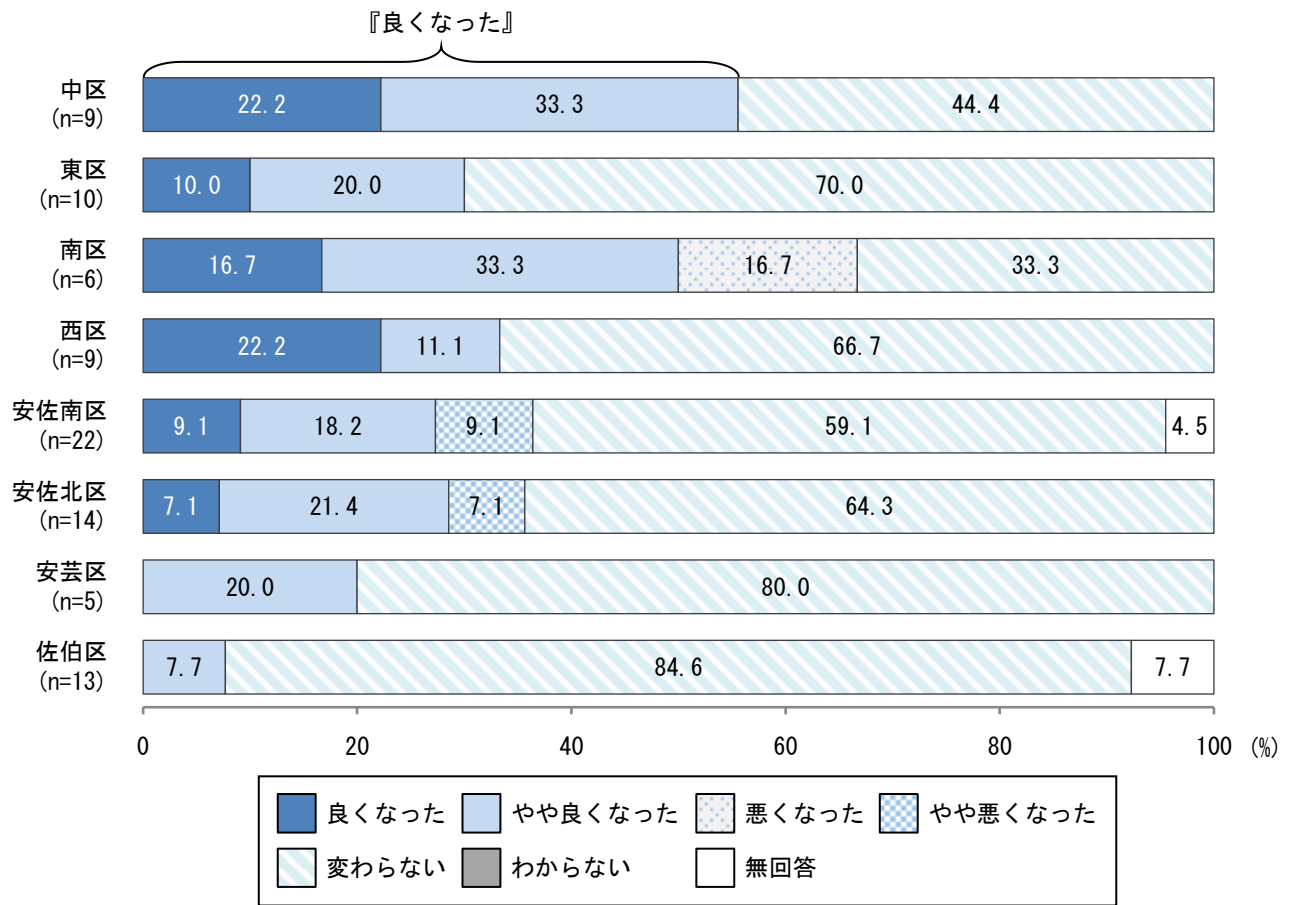
経年比較すると、「変わらない」との回答は13.0ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、『良くなった』との回答は7.1ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【以前と比べた活動地域の治安状況（団体規模別）】



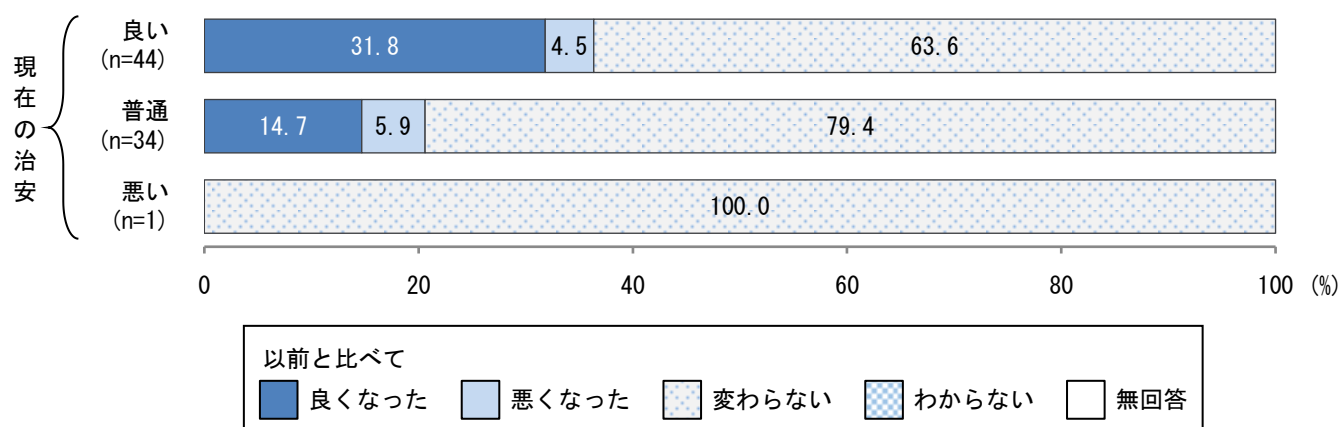
団体規模別にみると、『良くなった』との回答は1～19人の団体で3割台後半と他と比べ高くなっている。

【以前と比べた活動地域の治安状況（活動地区別）】



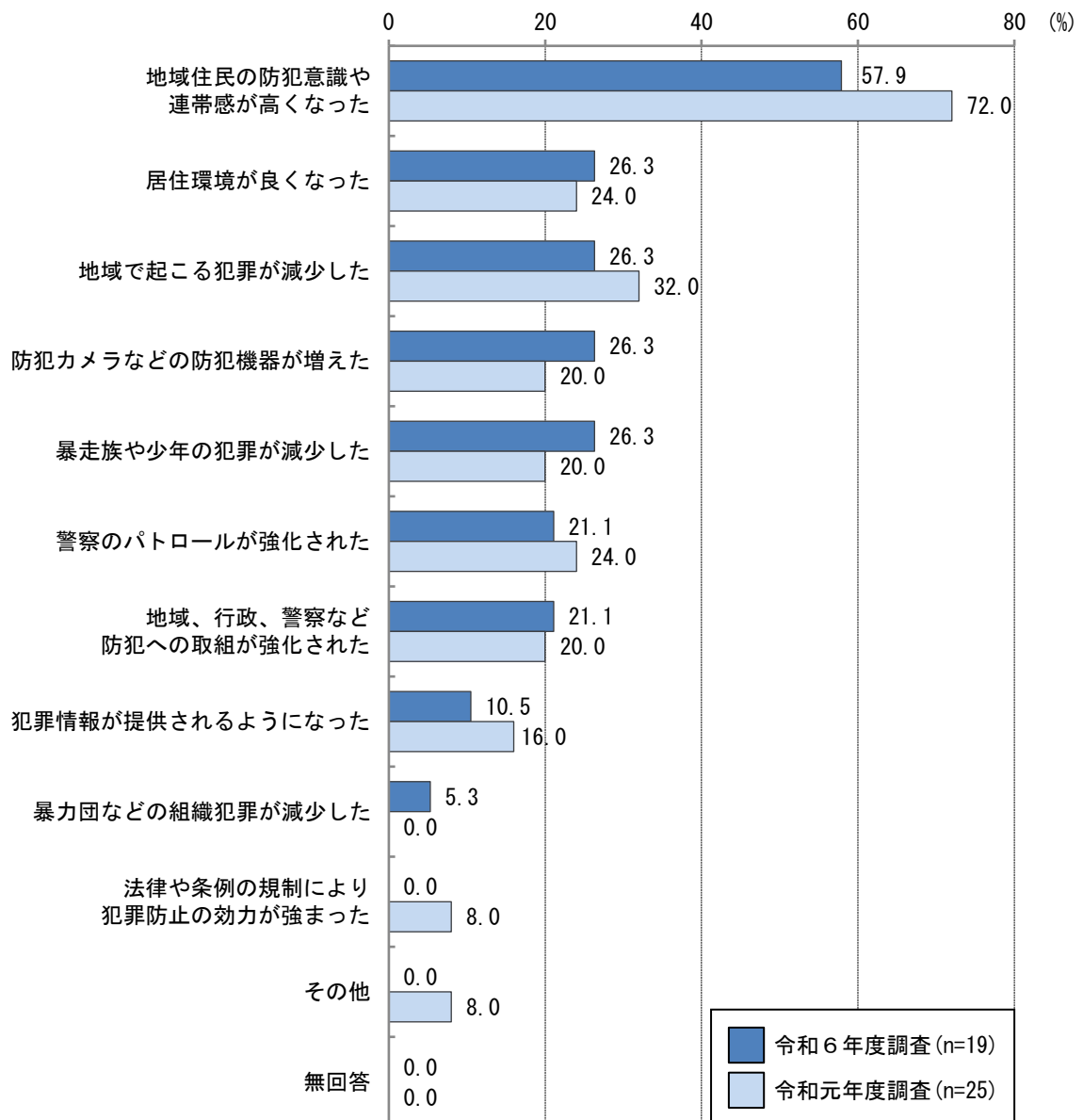
活動地区別にみると、『良くなった』との回答は中区、南区で他の地区と比べ高くなっている。

問16、問17 活動地域の以前の治安状況と現在の治安状況



活動地域の以前の治安状況と現在の治安状況について、以前と変わらず良いという評価（現在の治安が『良い』と回答し、以前と比べて「変わらない」と回答した団体）が 63.6%、以前と変わらず普通という評価（現在の治安が「普通」と回答し、以前と比べて「変わらない」と回答した団体）が 79.4%と他と比べ高くなっている。

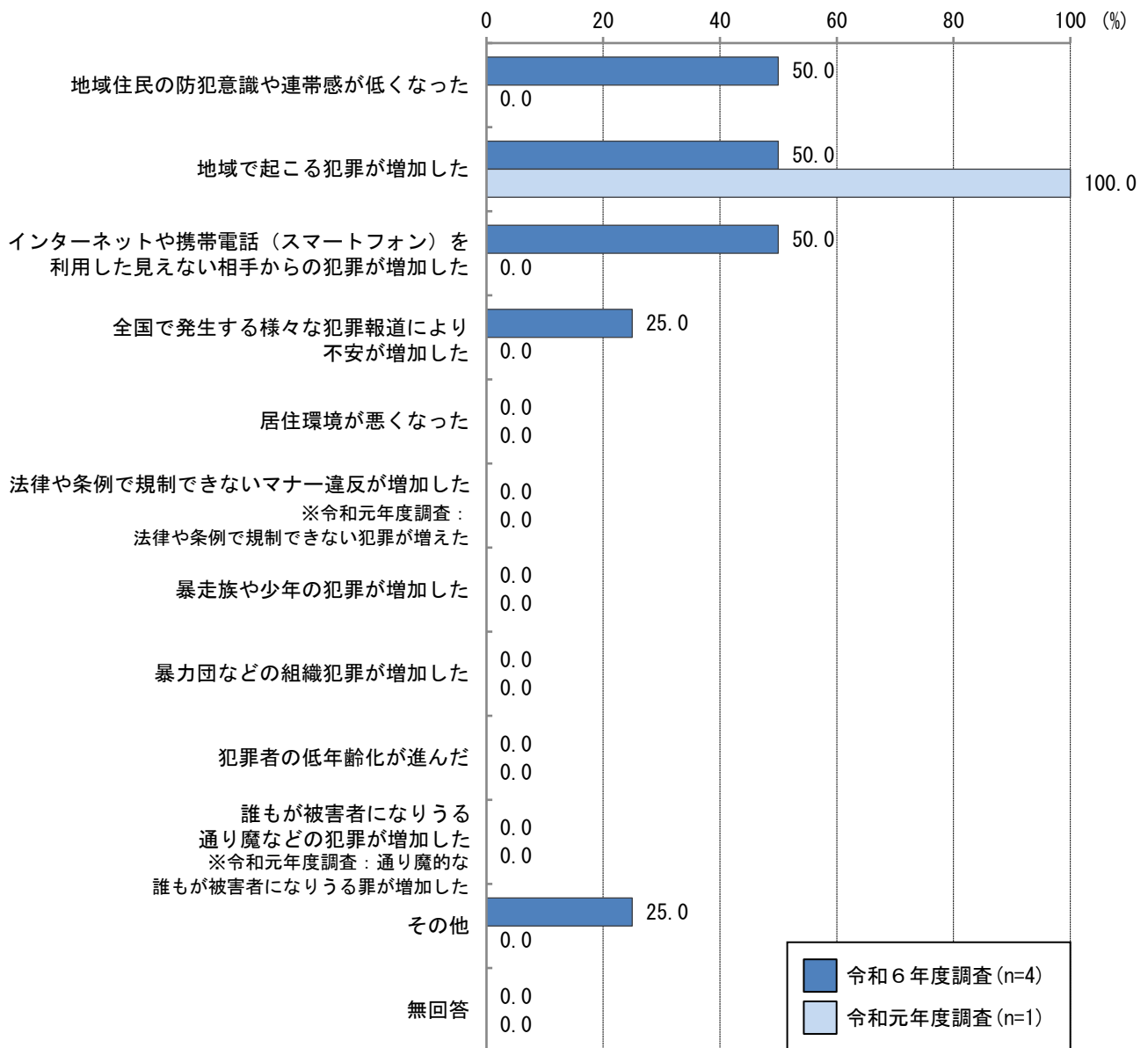
問18 【問17で「1 良くなった」または「2 やや良くなった」と回答された団体】
良くなったと感じる理由をお答えください。(〇は、3つ以内)



活動地域の治安が以前と比べて良くなったと感じる理由について、「地域住民の防犯意識や連帯感が高くなった」との回答が57.9%と最も高く、次いで「居住環境が良くなった」、「地域で起こる犯罪が減少した」、「防犯カメラなどの防犯機器が増えた」、「暴走族や少年の犯罪が減少した」（いずれも26.3%）などの順となっている。

経年比較すると、「防犯カメラなどの防犯機器が増えた」、「暴走族や少年の犯罪が減少した」との回答はともに6.3ポイント、「暴力団などの組織犯罪が減少した」との回答は5.3ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「地域住民の防犯意識や連帯感が高くなった」との回答は14.1ポイント、「地域で起こる犯罪が減少した」との回答は5.7ポイント、「犯罪情報が提供されるようになった」との回答は5.5ポイント、「法律や条例の規制により犯罪防止の効力が強まった」との回答は8.0ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

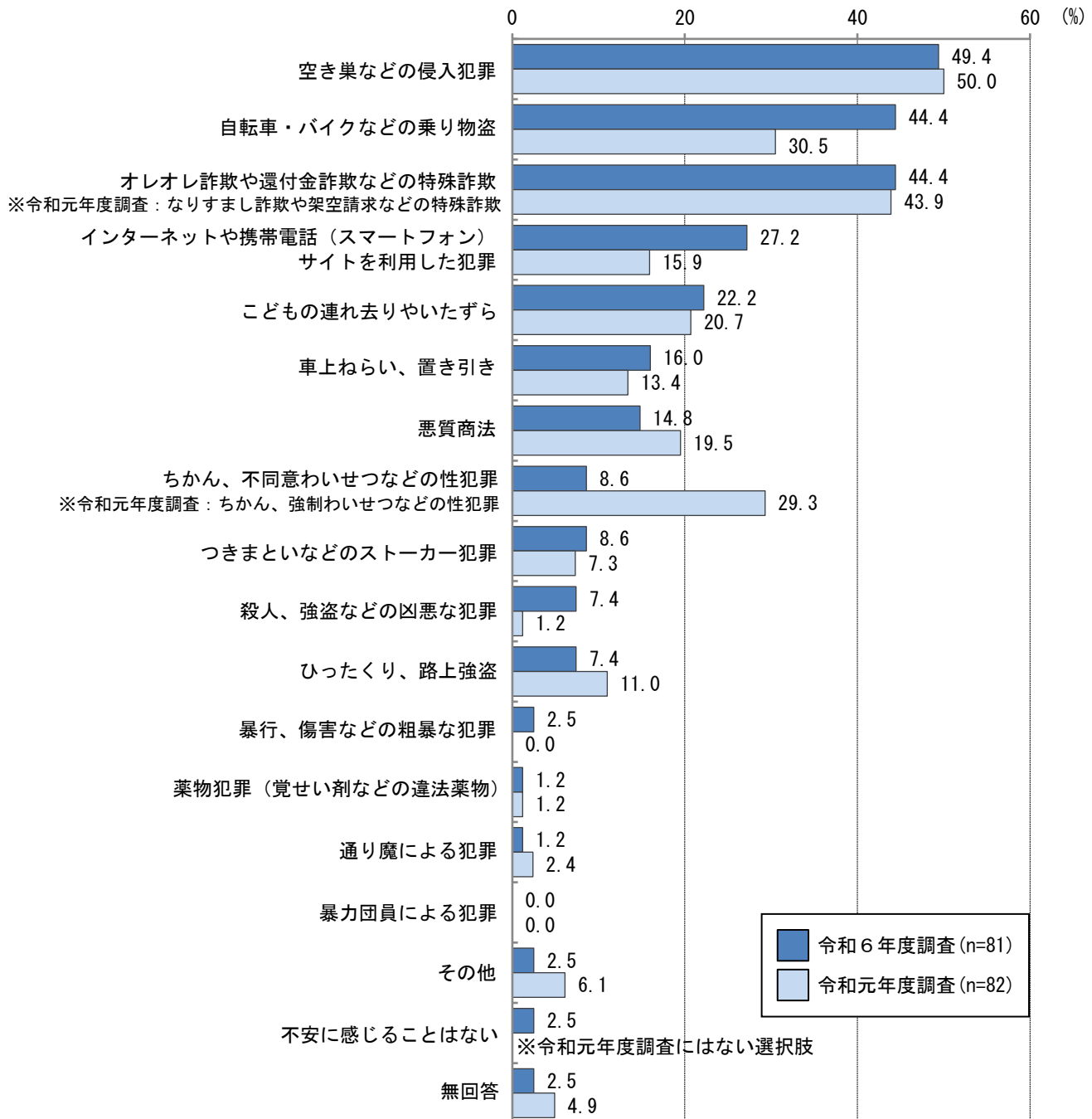
問19 【問17で「3 悪くなった」または「4 やや悪くなった」と回答された団体】
悪くなったと感じる理由をお答えください。(〇は、3つ以内)



活動地域の治安が以前と比べて悪くなったと感じる理由について、回答団体数が少ないため、回答傾向は記述しない。

問20 貴団体の活動地域において、起こるかもしれないと不安を感じる犯罪は何ですか。

(○は、3つ以内)



活動地域において起こるかもしれないと不安を感じる犯罪について、「空き巣などの侵入犯罪」との回答が49.4%と最も高く、次いで「自転車・バイクなどの乗り物盗」、「オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺」（ともに44.4%）などの順となっている。

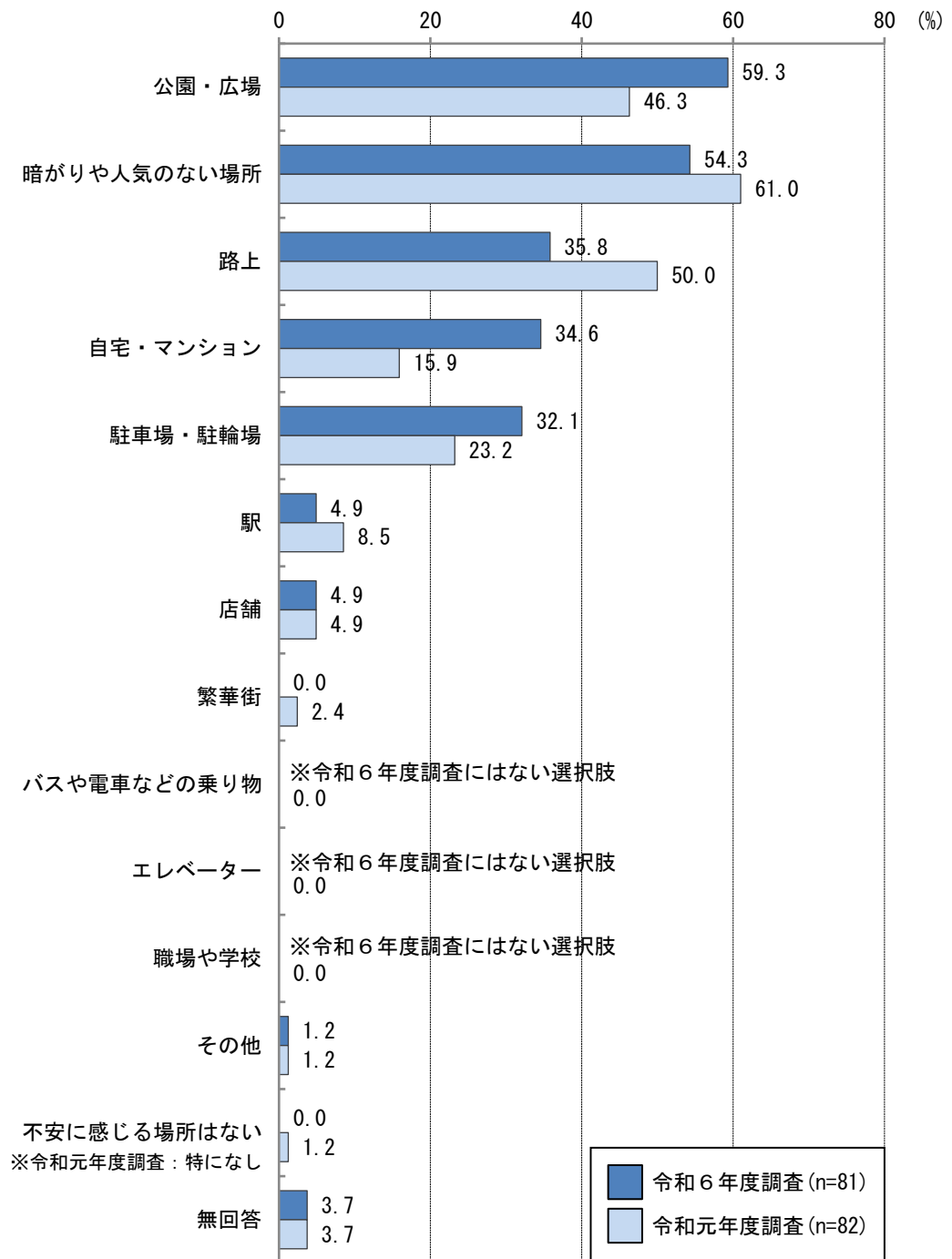
経年比較すると、「自転車・バイクなどの乗り物盗」との回答は13.9ポイント、「インターネットや携帯電話（スマートフォン）サイトを利用した犯罪」との回答は11.3ポイント、「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」との回答は6.2ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「ちかん、不同意わいせつなどの性犯罪」との回答は20.7ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動地域において起こるかもしれないと不安を感じる犯罪（活動地区別）】

		件数	空き巣などの侵入犯罪	自転車・バイクなどの乗り物盗	オレオレ詐欺などの特殊詐欺	インターネットを利用した犯罪	インターネットや携帯電話（スマートフォン）を利用した犯罪	子どもの連れ去りやいたずら	車上ねらい、置き引き	悪質商法	ちかん、不同意わいせつなどの性犯罪
全体		81	49.4	44.4	44.4	27.2	22.2	22.2	16.0	14.8	8.6
活動地区別	中区	9	44.4	77.8	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	－
	東区	10	30.0	40.0	70.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0
	南区	6	66.7	50.0	66.7	33.3	－	33.3	16.7	－	－
	西区	9	55.6	33.3	44.4	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1
	安佐南区	22	50.0	27.3	50.0	36.4	22.7	13.6	18.2	9.1	9.1
	安佐北区	14	50.0	57.1	28.6	35.7	28.6	14.3	7.1	14.3	14.3
	安芸区	5	20.0	40.0	60.0	40.0	－	－	－	－	20.0
	佐伯区	13	38.5	23.1	61.5	38.5	23.1	7.7	23.1	－	－

活動地区別にみると、「空き巣などの侵入犯罪」との回答は南区、西区、安佐南区、安佐北区で5割以上、「自転車・バイクなどの乗り物盗」との回答は中区で7割台後半、「オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺」との回答は東区、南区、安芸区、佐伯区で6割以上と全体と比べ高くなっている。

問21 貴団体の活動地域において、犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所はどこですか。(〇は、3つ以内)



活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所について、「公園・広場」との回答が59.3%と最も高く、次いで「暗がりや人気のない場所」(54.3%)、「路上」(35.8%)などの順となっている。

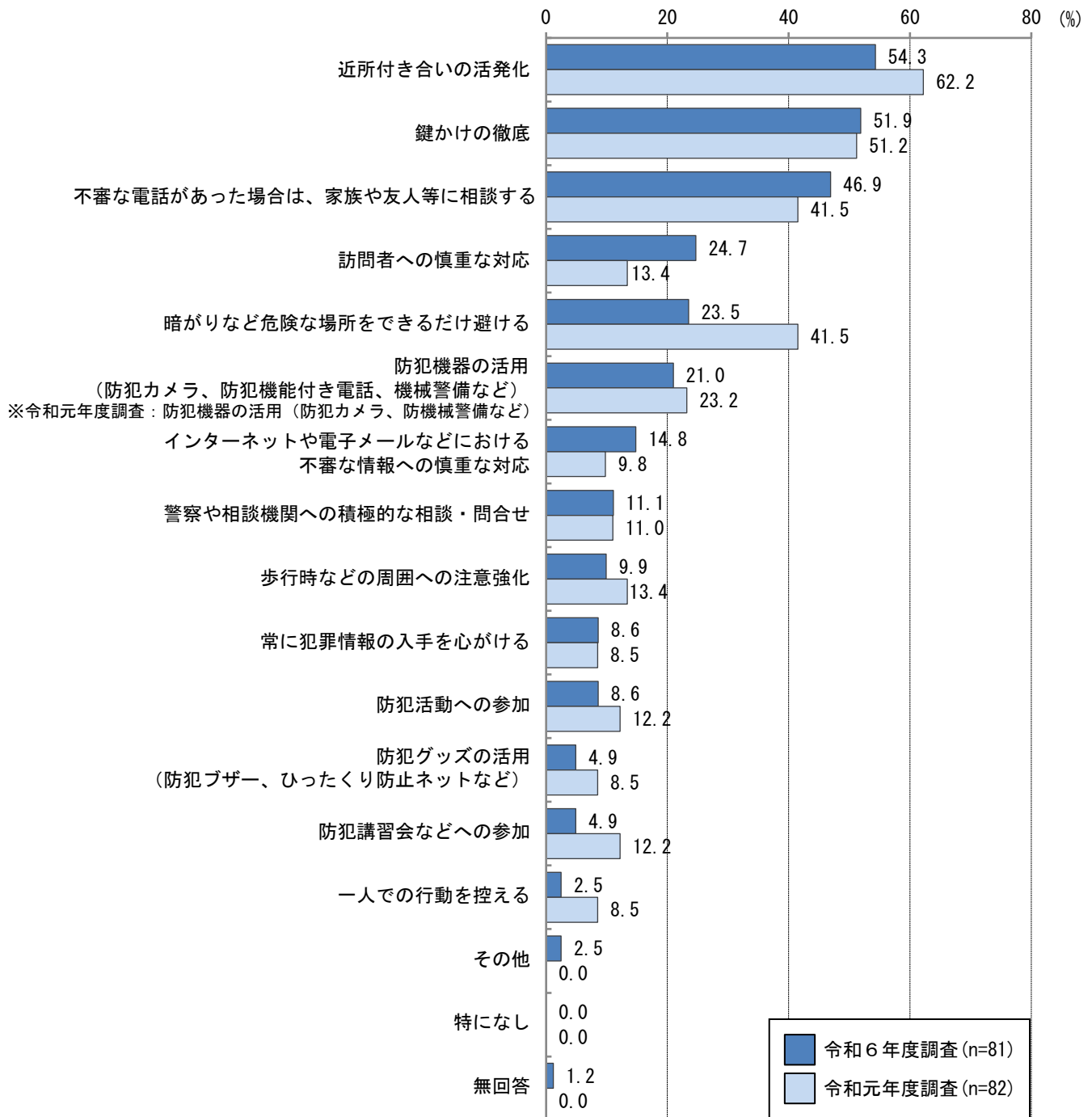
経年比較すると、「公園・広場」との回答は13.0ポイント、「自宅・マンション」との回答は18.7ポイント、「駐車場・駐輪場」との回答は8.9ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「暗がりや人気のない場所」との回答は6.7ポイント、「路上」との回答は14.2ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

【活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所（活動地区別）】

		件数	公園・広場	所暗がりや人気のない場	路上	自宅・マンション	駐車場・駐輪場	駅	店舗	繁華街
										(%)
全体		81	59.3	54.3	35.8	34.6	32.1	4.9	4.9	-
活動地区別	中区	9	66.7	44.4	44.4	33.3	77.8	-	-	-
	東区	10	70.0	40.0	50.0	30.0	30.0	-	-	-
	南区	6	33.3	50.0	16.7	33.3	66.7	-	16.7	-
	西区	9	66.7	44.4	55.6	44.4	44.4	11.1	-	-
	安佐南区	22	50.0	50.0	22.7	40.9	27.3	13.6	4.5	-
	安佐北区	14	64.3	42.9	42.9	35.7	42.9	-	7.1	-
	安芸区	5	80.0	60.0	80.0	20.0	20.0	-	-	-
	佐伯区	13	76.9	69.2	46.2	7.7	15.4	-	7.7	-

活動地区別にみると、中区、南区以外の地区で「公園・広場」との回答が最も高くなっている。また、「暗がりや人気のない場所」との回答は佐伯区で約7割、「路上」との回答は安芸区で8割、「駐車場・駐輪場」との回答は中区、南区で6割以上と全体と比べ高く、「自宅・マンション」との回答は佐伯区で1割未満と全体と比べ低くなっている。

問22 地域住民が犯罪被害にあわないためには、どのようなことを心がけるべきと思いますか。
(○は、3つ以内)



地域住民が犯罪被害にあわないために心がけるべきことについて、「近所付き合いの活性化」との回答が54.3%と最も高く、次いで「鍵かけの徹底」(51.9%)、「不審な電話があった場合は、家族や友人等に相談する」(46.9%)などの順となっている。

経年比較すると、「不審な電話があった場合は、家族や友人等に相談する」との回答は5.4ポイント、「訪問者への慎重な対応」との回答は11.3ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「近所付き合いの活発化」との回答は7.9ポイント、「暗がりなど危険な場所をできるだけ避ける」との回答は18.0ポイント、「防犯講習会などへの参加」との回答は7.3ポイント、「一人での行動を控える」との回答は6.0ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

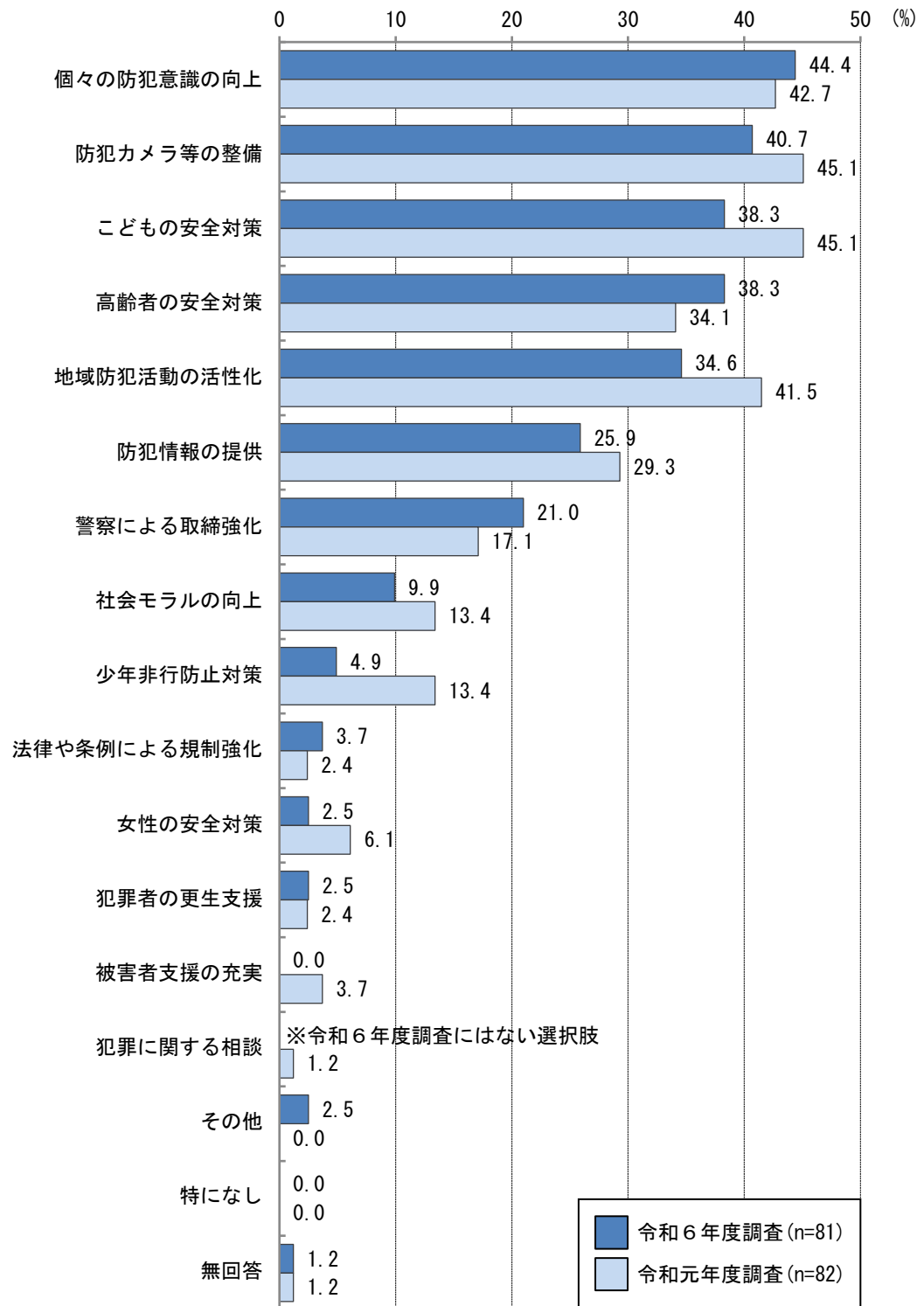
【地域住民が犯罪被害にあわないために心がけるべきこと（活動地区別）】

(%)

	件数	近所付き合いの活発化	鍵かけの徹底	相談する 合は、家族や友人等に	不審な電話があつた場	訪問者への慎重な対応	暗がりなど危険な場所 をできるだけ避ける	電話、カメラ、防犯機器の活用（防犯機能付き電話、機械警備など）	防犯機器の活用（防犯カメラ、防犯機能付き電話、機械警備など）	応審な情報への慎重な対応	インターネットや電子メールなどにおける電子	警察や相談機関への積極的な相談・問合せの積
全体	81	54.3	51.9	46.9	24.7	23.5	21.0	14.8	11.1			
活動地区別	中区	9	55.6	55.6	55.6	22.2	44.4	11.1	11.1	22.2		
	東区	10	30.0	40.0	30.0	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0		
	南区	6	50.0	66.7	83.3	16.7	—	33.3	33.3	—		
	西区	9	66.7	55.6	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1		
	安佐南区	22	50.0	54.5	36.4	31.8	13.6	13.6	18.2	13.6		
	安佐北区	14	50.0	71.4	57.1	14.3	21.4	35.7	21.4	—		
	安芸区	5	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	—		
	佐伯区	13	46.2	53.8	61.5	23.1	38.5	—	30.8	7.7		

活動地区別にみると、「鍵かけの徹底」との回答は安佐北区で7割台前半、「不審な電話があつた場合は、家族や友人等に相談する」との回答は南区で8割台前半、「防犯機器の活用（防犯カメラ、防犯機能付き電話、機械警備など）」との回答は安芸区で6割と全体と比べ高くなっている。

問23 貴団体の活動地域の治安を良くするために、行政や警察が今後どのような取組を強化することが必要だと思いますか。(〇は、3つ以内)



活動地域の治安を良くするために、強化が必要だと思う行政や警察の取組について、「個々の防犯意識の向上」との回答が44.4%と最も高く、次いで「防犯カメラ等の整備」(40.7%)、「こどもの安全対策」、「高齢者の安全対策」との回答が(ともに38.3%)などの順となっている。

経年比較すると、「こどもの安全対策」との回答は6.8ポイント、「地域防犯活動の活性化」との回答は6.9ポイント、「少年非行防止対策」との回答は8.5ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

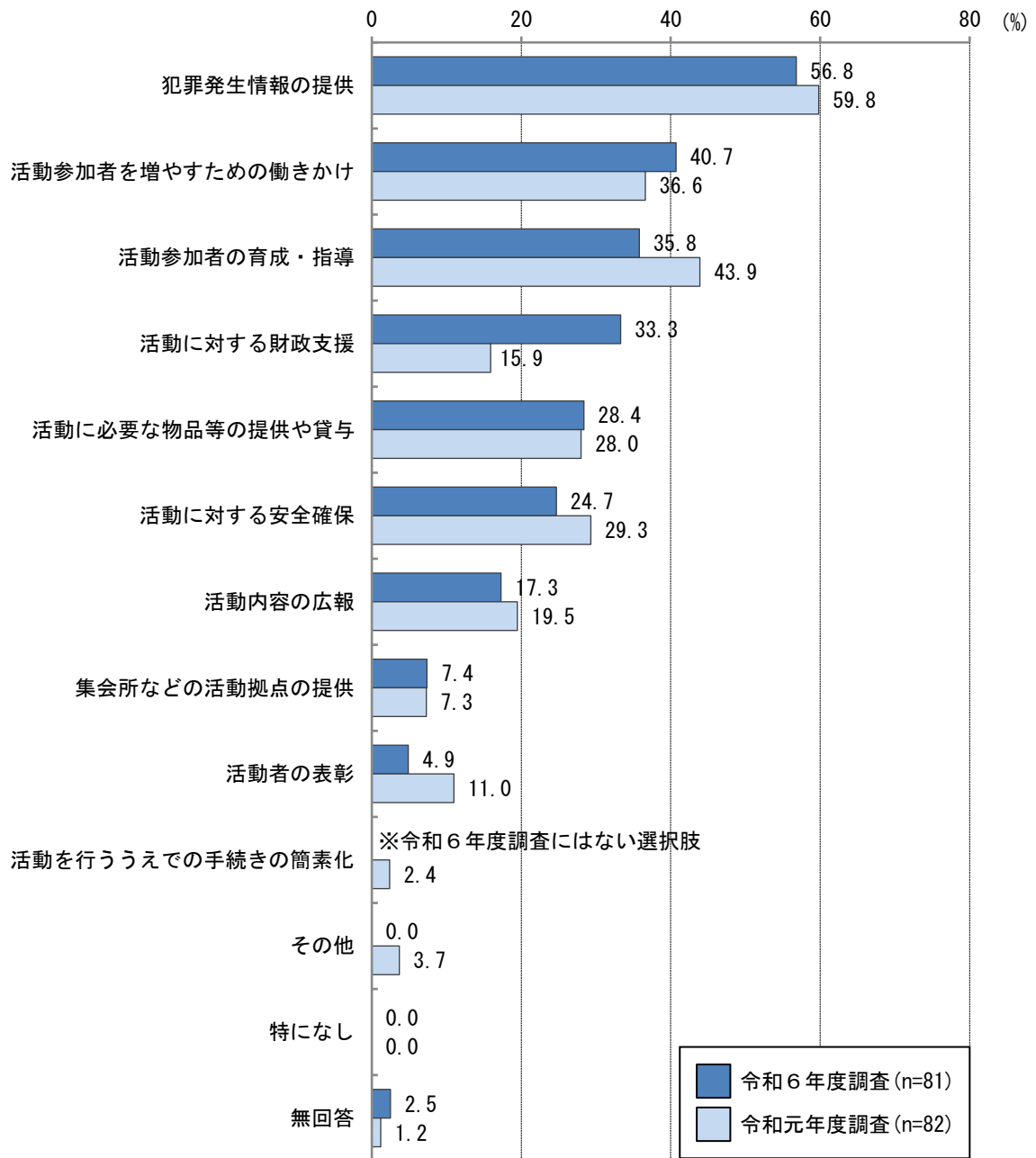
【活動地域の治安を良くするために、強化が必要だと思う行政や警察の取組（活動地区別）】

(%)

		件数	個々の防犯意識の向上	防犯カメラ等の整備	こどもの安全対策	高齢者の安全対策	地域防犯活動の活性化	防犯情報の提供	警察による取締強化	社会モラルの向上
全体		81	44.4	40.7	38.3	38.3	34.6	25.9	21.0	9.9
活動地区別	中区	9	33.3	33.3	33.3	22.2	55.6	22.2	11.1	44.4
	東区	10	40.0	30.0	40.0	30.0	60.0	20.0	20.0	10.0
	南区	6	33.3	66.7	16.7	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7
	西区	9	44.4	33.3	44.4	55.6	22.2	33.3	22.2	－
	安佐南区	22	45.5	45.5	27.3	31.8	36.4	31.8	27.3	4.5
	安佐北区	14	50.0	71.4	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	－
	安芸区	5	－	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0
	佐伯区	13	46.2	30.8	53.8	53.8	23.1	15.4	30.8	－

活動地区別にみると、「防犯カメラ等の整備」との回答は南区、安佐南区、安佐北区、安芸区で4割以上、「地域防犯活動の活性化」との回答は中区、東区、安芸区で6割前後と全体と比べ高く、「こどもの安全対策」との回答は南区で1割台後半と全体と比べ低くなっている。

問24 地域や個人・事業者で取り組む防犯活動に対し、行政や警察がどのような支援をすれば良いと思いますか。(〇は、3つ以内)



地域や個人・事業者で取り組む防犯活動に対し、行政や警察がすればよいと思う支援について、「犯罪発生情報の提供」との回答が56.8%と最も高く、次いで「活動参加者を増やすための働きかけ」(40.7%)、「活動参加者の育成・指導」(35.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「活動に対する財政支援」との回答は17.4ポイント今回調査が前回調査を上回っている。一方、「活動参加者の育成・指導」との回答は8.1ポイント、「活動者の表彰」との回答は6.1ポイント今回調査が前回調査を下回っている。

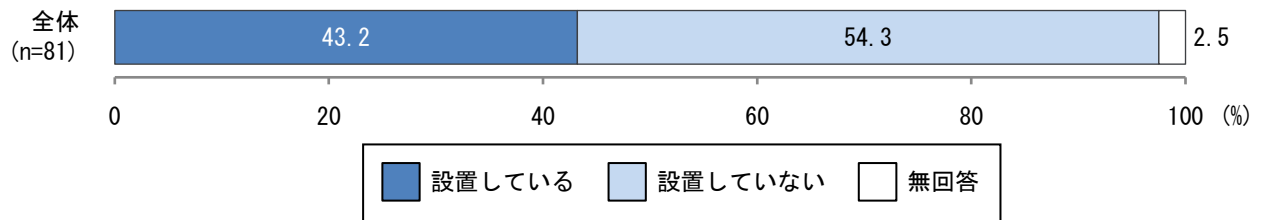
【地域や個人・事業者で取り組む防犯活動に対し、
行政や警察がすればよいと思う支援（活動地区別）】

(%)

	件数	犯罪発生情報の提供	活動参加者の働きかけ	活動参加者の育成・指導	活動に対する財政支援	活動に必要な物品等の提供や貸与	活動に対する安全確保	活動内容の広報	集会所などの活動拠点の提供
全体	81	56.8	40.7	35.8	33.3	28.4	24.7	17.3	7.4
活動地区別	中区	9	55.6	55.6	77.8	33.3	11.1	33.3	11.1
	東区	10	60.0	20.0	10.0	60.0	50.0	20.0	20.0
	南区	6	16.7	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	50.0
	西区	9	77.8	44.4	44.4	22.2	22.2	33.3	22.2
	安佐南区	22	63.6	45.5	40.9	40.9	22.7	13.6	13.6
	安佐北区	14	50.0	50.0	28.6	28.6	21.4	42.9	7.1
	安芸区	5	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	—	20.0
	佐伯区	13	30.8	53.8	53.8	46.2	30.8	15.4	23.1

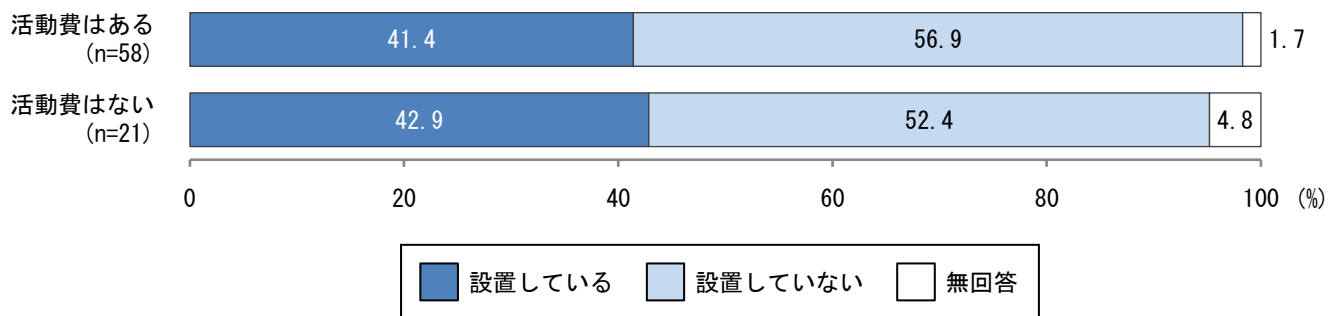
活動地区別にみると、中区、南区、佐伯区以外の地区で「犯罪発生情報の提供」との回答が最も高くなっている。また、「活動参加者の育成・指導」との回答は中区で7割台後半、「活動に対する財政支援」との回答は東区で6割、「活動に必要な物品等の提供や貸与」との回答は東区で5割、「活動内容の広報」との回答は南区で5割と全体と比べ高くなっている。

問25 本市では、防犯活動を行っている町内会等の地域団体が公共の場所（道路、公園など）に防犯カメラを設置する場合、設置費用の一部を補助する制度を実施しています。
貴団体（又は貴団体の活動地域の町内会等）では、この補助制度を活用するなどして、防犯カメラを設置していますか。（〇は、1つ）



防犯カメラの設置の有無について、「設置している」との回答が 43.2%、「設置していない」との回答が 54.3%となっている。

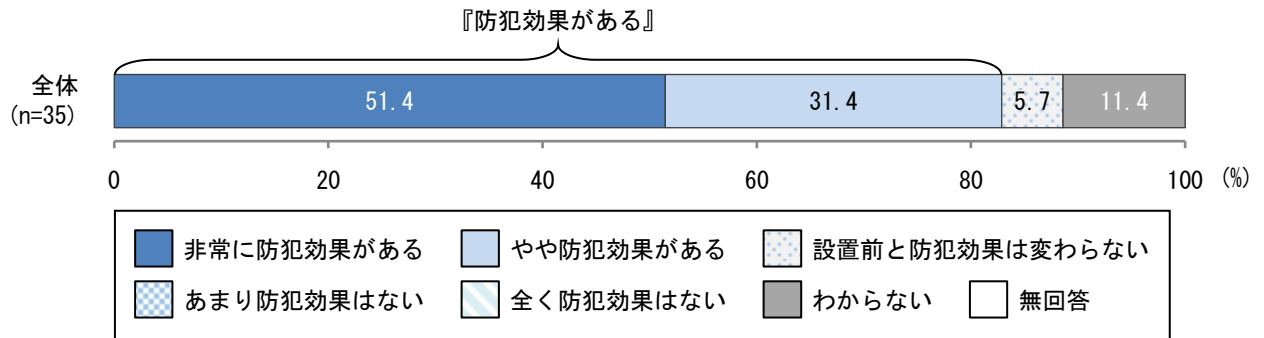
【防犯カメラの設置の有無（活動費の有無別）】



活動費の有無別にみると、大きな差はみられない。

問26 【問25で「1 設置している」と回答された団体】

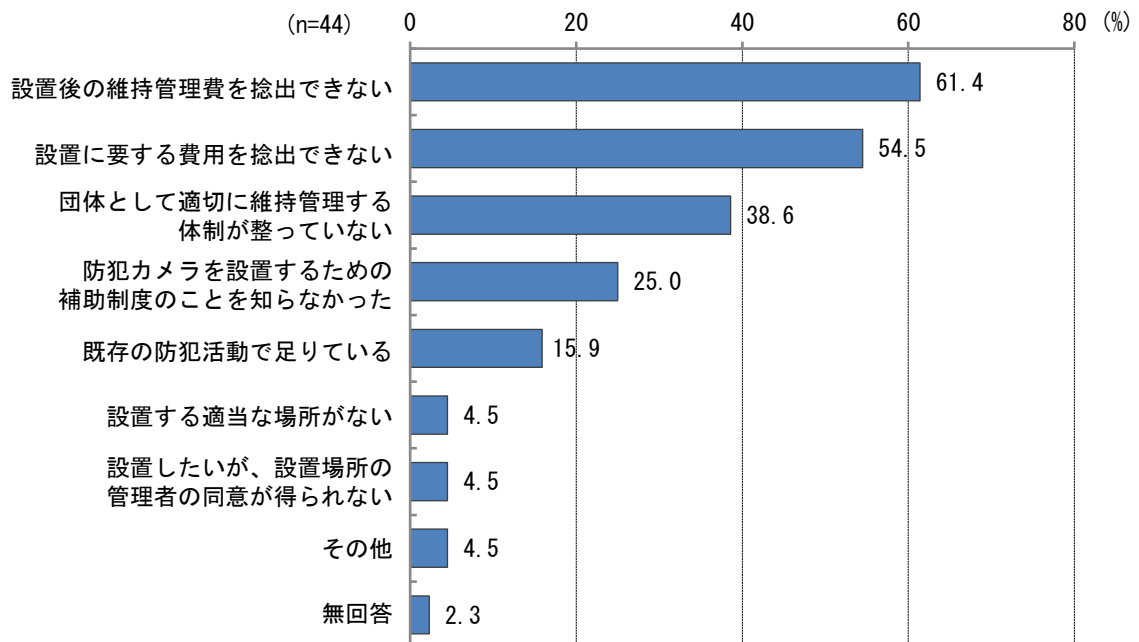
設置している防犯カメラの防犯効果はどのように感じていますか。(〇は、1つ)



設置している防犯カメラの防犯効果について、『防犯効果がある』（「非常に防犯効果がある」と「やや防犯効果がある」を合計した割合）との回答は82.8%となっている。

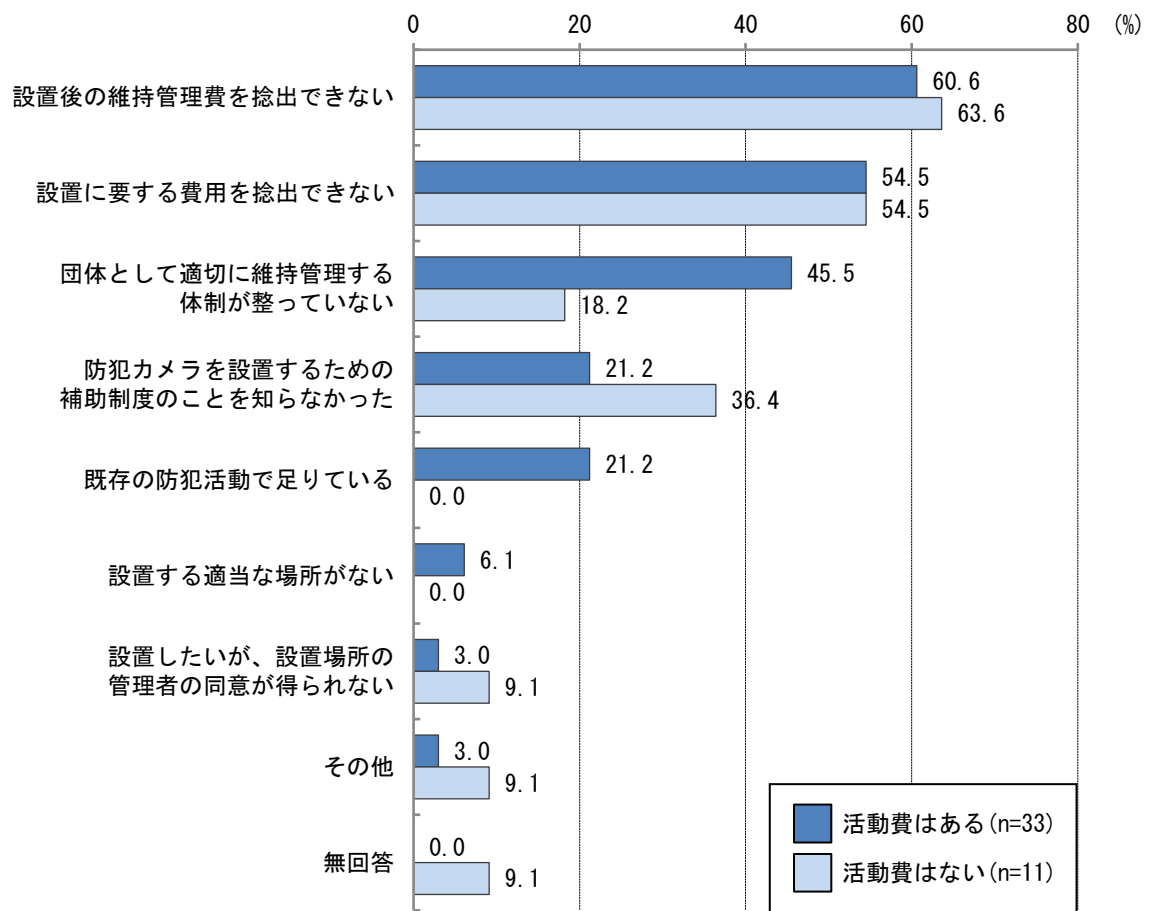
問27 【問25で「2 設置していない」と回答された団体】

防犯カメラを設置していない理由は何ですか。(〇は、いくつでも)



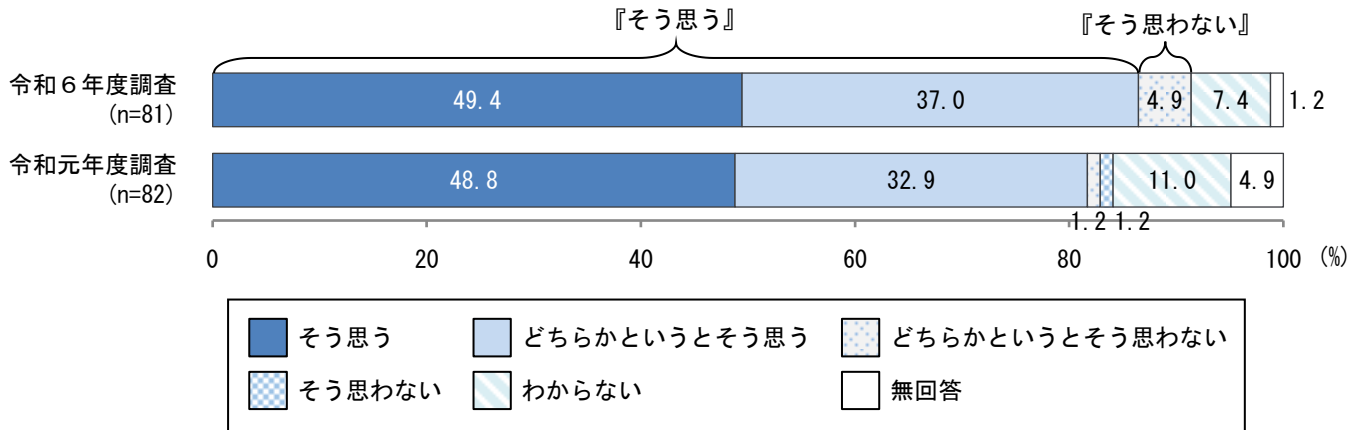
防犯カメラを設置していない理由について、「設置後の維持管理費を捻出できない」との回答が61.4%と最も高く、次いで「設置に要する費用を捻出できない」(54.5%)、「団体として適切に維持管理する体制が整っていない」(38.6%)などの順となっている。

【防犯カメラを設置していない理由（活動費の有無別）】



活動費の有無別にみると、「団体として適切に維持管理する体制が整っていない」との回答は防犯活動の活動費がある団体（45.5％）がない団体（18.2％）を27.3ポイント、「既存の防犯活動で足りている」との回答は防犯活動の活動費がある団体（21.2％）がない団体（0.0％）を21.2ポイント、「設置する適当な場所がない」との回答は防犯活動の活動費がある団体（6.1％）がない団体（0.0％）を6.1ポイント上回っている。一方、「防犯カメラを設置するための補助制度のことを知らなかった」との回答は活動費がない団体（36.4％）がある団体（21.2％）を15.2ポイント、「設置したいが、設置場所の管理者の同意が得られない」との回答は活動費がない団体（9.1％）がある団体（3.0％）を6.1ポイント上回っている。

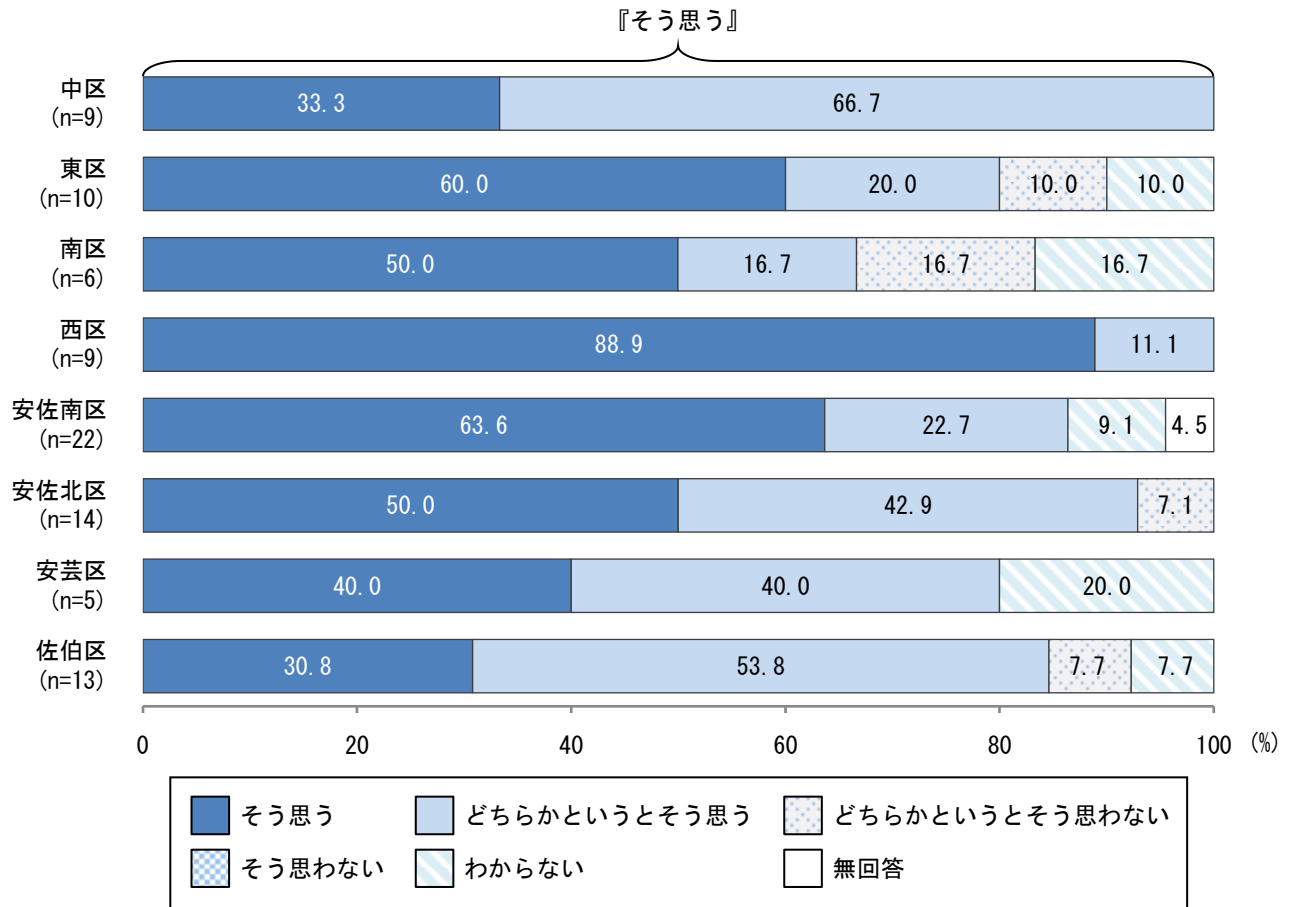
問28 『再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。』という意見について、貴団体はどう思いますか。（○は、1つ）



『再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。』という意見について、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」を合計した割合）との回答は86.4%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合計した割合）との回答は4.9%となっている。

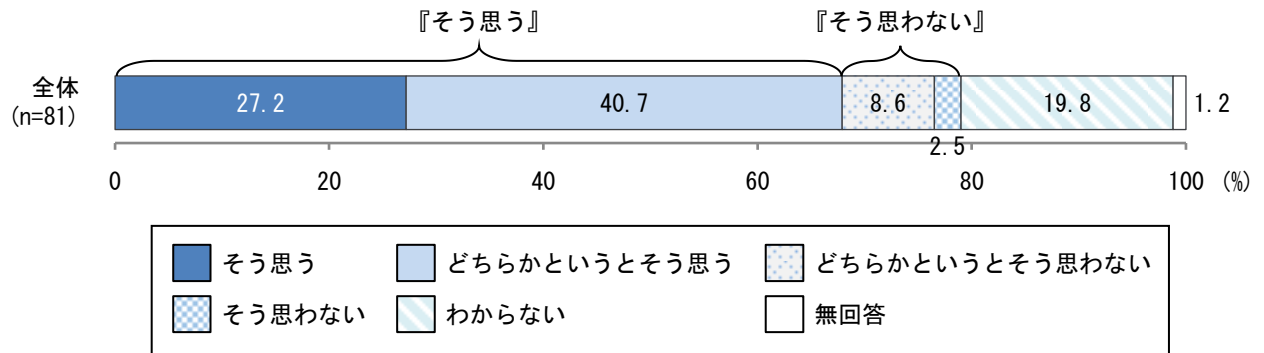
経年比較すると、大きな差はみられない。

【『再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。』という意見について（活動地区別）】



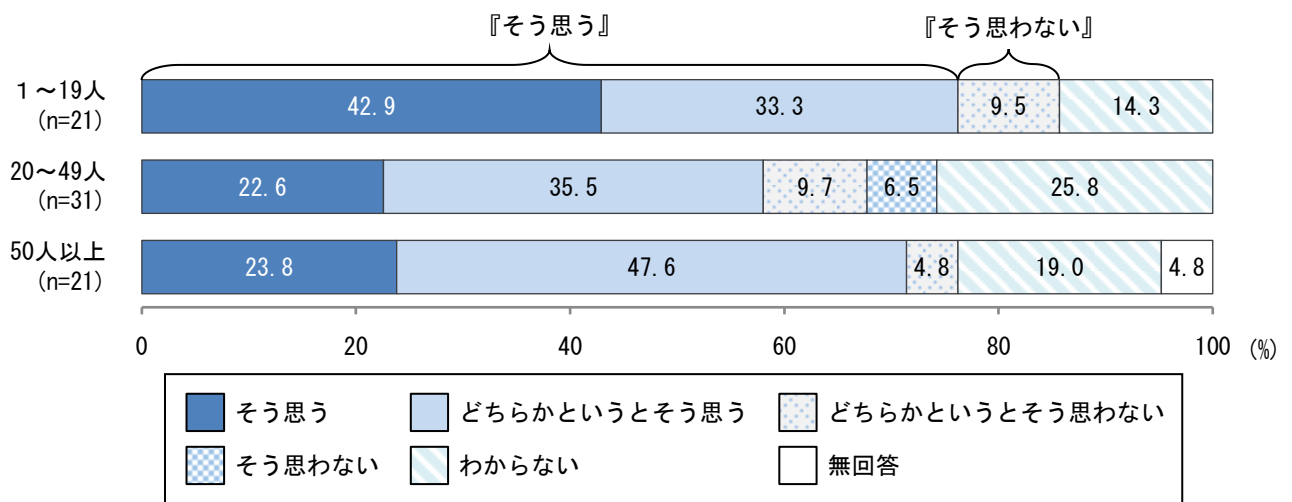
活動地区別にみると、『そう思う』との回答は南区以外の地区で8割以上となっている。

問29 貴団体は、再犯防止の取組として、犯罪をした人たちへの立ち直りに協力したいと思いますか。(〇は、1つ)



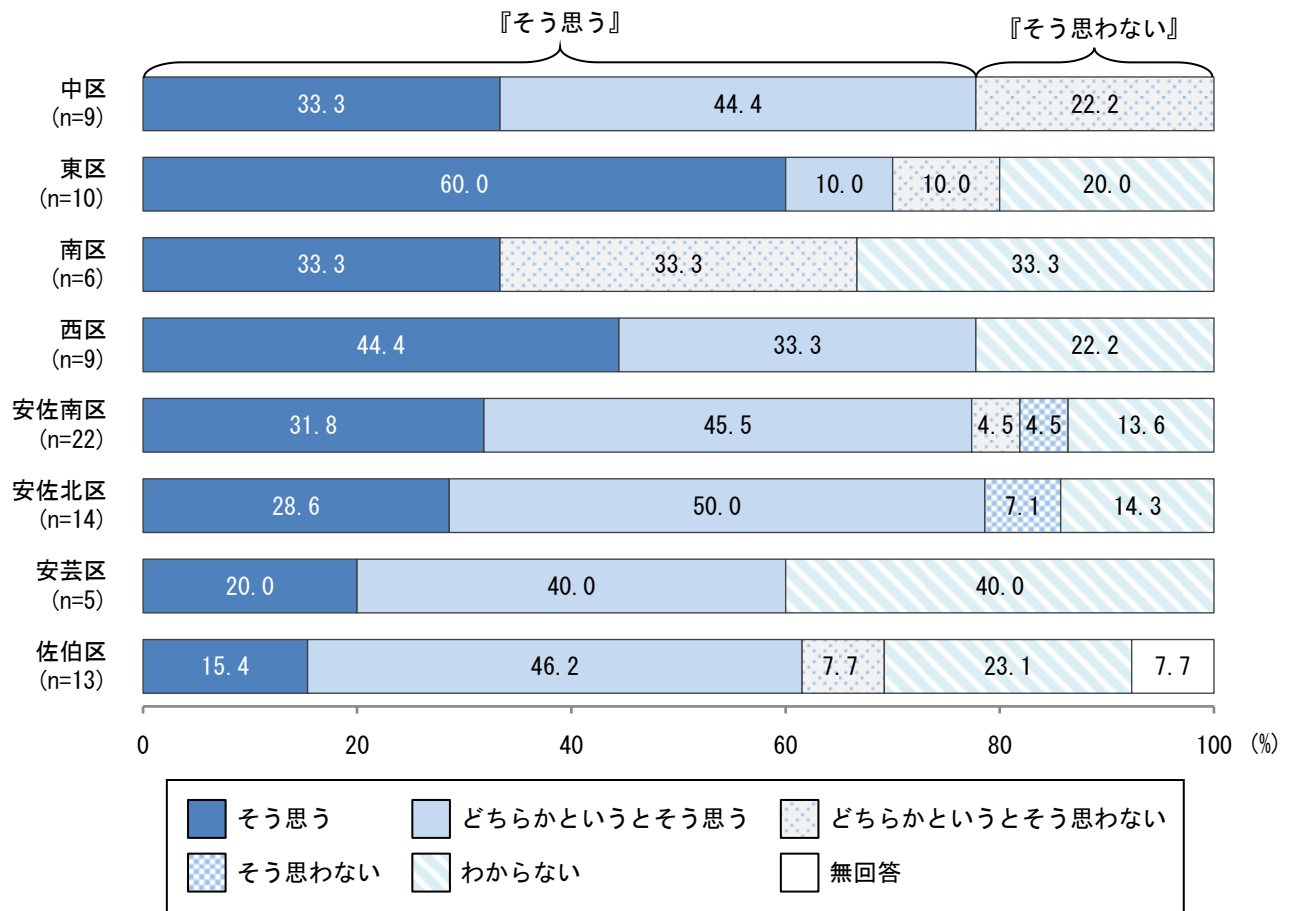
犯罪をした人たちへの立ち直りに協力したいかについて、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかというと思う」を合計した割合)との回答は67.9%、『そう思わない』(「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合計した割合)との回答は11.1%、「わからない」との回答は19.8%となっている。

【犯罪をした人たちへの立ち直りに協力したいか(団体規模別)】



団体規模別にみると、『そう思う』との回答は20～49人の団体で5割台後半と他と比べ低くなっている。

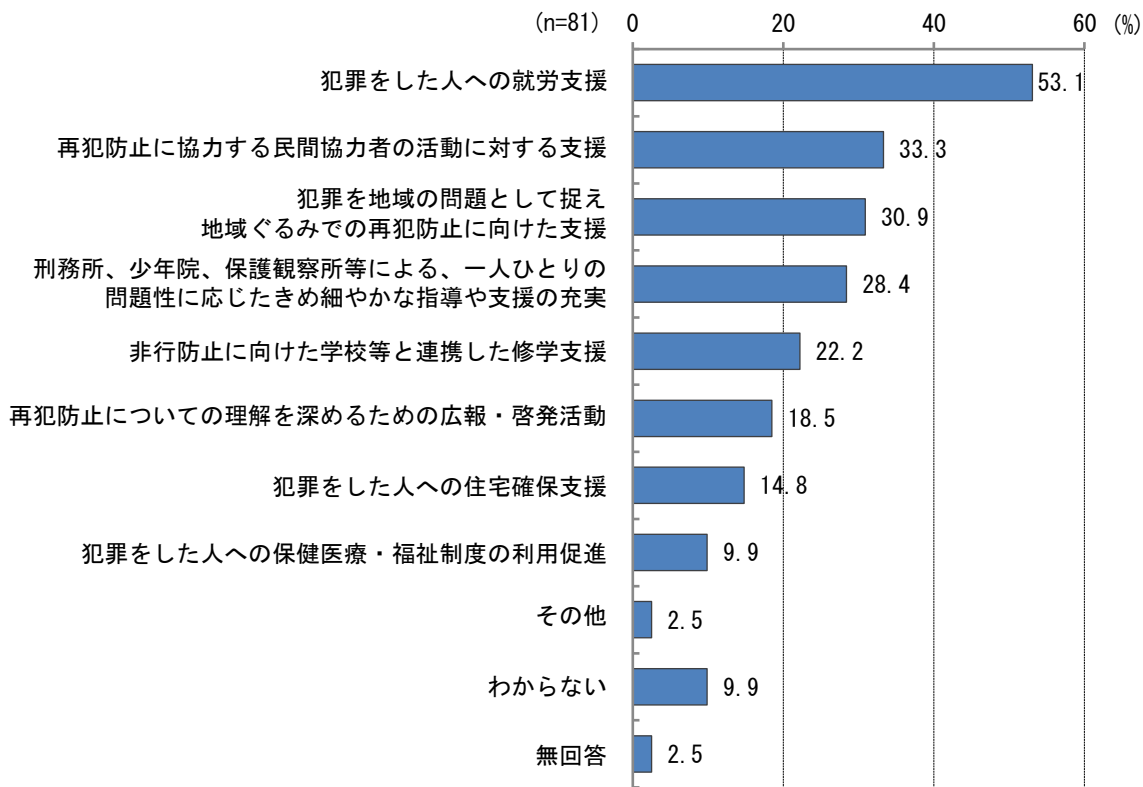
【犯罪をした人々への立ち直りに協力したいか（活動地区別）】



活動地区別にみると、『そう思う』との回答は南区以外の地区で6割以上となっている。

問30 貴団体は、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は、3つ以内)



再犯防止のために必要だと思うことについて、「犯罪をした人への就労支援」との回答が 53.1% と最も高く、次いで「再犯防止に協力する民間協力者の活動に対する支援」(33.3%)、「犯罪を地域の問題として捉え地域ぐるみでの再犯防止に向けた支援」(30.9%)などの順となっている。

III 自由意見

Ⅲ 自由意見（意見総数33件より抜粋）

1 行政への意見・要望について（17件）

意見・要望	活動地区
各学区には防犯組合が設立されており、活動に要する費用は学区内自治会から捻出してもらっているが、近年自治会が解散したり自治会を退会する者が増加しており、防犯組合の予算も減少しつつある。防犯組合の活動費を市の方で予算化し助成金を出していただければ良いと思う。	安佐南区
防犯チョッキ・帽子などは無償貸与となっていない（一部自己負担）。防犯組合連合会は交通安全協会、公衛協などと比べ予算が少ない。自己財源がある・ないの問題もあるが、広島市は財源の調整を図ってもらいたい。	安佐南区
活動費の補助金をお願いいたします。	安佐北区
青少年指導員手当やLMOを通しての活動費支援を心強く感じています。引き続いたの御支援をお願いします。	安佐北区
防犯カメラの設置を町内会でなく市よりお願いしたい。管理が町内会ではむずかしい。費用、責任者、設置場所等。	安佐南区
防犯カメラの犯罪抑止効果は大きいと思うが、初期に設置した防犯カメラは更新期となっており、財政支援を継続していただきたい。防犯カメラ設置場所は、効果が大きい電柱に設置したいが、中国電力電柱については、特定業者による防犯カメラ設置しか認めておらず、犯罪抑止力の大きい電柱への防犯カメラ設置ができず、苦慮しており、行政等で解決していただきたい。	東区
子どもが多く集まって遊ぶ公園には、補助割合を増やして防犯カメラの設置を押し進めてもらいたい。	中区
PTAの存続ができない状況になっている中で、登下校の見守りも維持することが厳しい状況になっている。財政支援も含めた対応ができるかなど検討をお願いしたい。	安佐南区
これだけ毎日詐欺被害が起きているのに警察行政は何をしているのか、特捜部を設置して取り締まりを強化してほしい。	佐伯区
少子高齢化の最中、広島市のLMO推進で所属各団体の意識が高まっているが、地域への浸透は歩みが遅いと感じられます。継続をすすめるなか丁寧な広報と取組を期待します。	安佐南区
お巡りさんによる頻繁なパトロールが安全な環境を作り安心・安全なまちづくりになると思います。	安芸区
地域コミュニティーの重要性をもっと行政として、啓発活動を更にすすめるべきである。市等の方々がその中に入りきっていない状況が感じられる（その差が大きと思う）。	安佐南区

2 活動内容について（８件）

意見・要望	活動地区
徐々に高齢化が進み、不審者を見たという通報や闇バイトなどのマスコミ情報があり、全般的に不安な状況にある。特に一人暮らしの方は、近隣の人がサポートしやすい地域を作ることを心がけている。防犯カメラも９台導入し犯罪の防止に努めている。また、85人体制の一斉防犯パトロールを実施している。	安芸区
安全なまちづくりの必要性は痛感しており、協力すべきという気持ちはありますが、高齢化のなかで組織の運営継続もままならず、申し訳ないとすら感じています。組織の立て直しが急務となっていますが、後継者を見つけることも困難な状態で、団体としての活動に自信をもってのお答えはできません。私たちのような団体に頼るのも限界があるのでは…。	南区
当社会福祉（協）でLMOを活用した「まちづくり協議会」を毎月１回参加者（担当者指名）で１時間～１時間半会議を行い、情報を共有して明るいまちづくりに貢献するようにしている。	東区
防犯カメラは１台設置しましたが、維持管理が問題で次へと進みません。マンションが多く人口が増加していますが、町内会に入らないため人間関係ができません。高齢により町内会を退会される人が多発し不安です。警察の人員が少ないので大変だと思います。	安佐南区

3 その他の意見について（８件）

意見・要望	活動地区
各団体における具体的な取組活動の情報提供をお願いします。	中区
各コミュニティーで自主的に取り組む事が大事と思う。「他力本願は大敵」	安佐南区
諸外国から多種多様な人々が家族ぐるみで住民となる時代がやってきている。考え方、価値観、習慣や宗教の異なる人々との交流をどうしたら良いのか、その具体的な方法や法律関係の情報提供を行政機関が実施するとすれば、いつ頃、どんな方法なのかといったことを途切れることなく我々に流していただけるように願っています。	南区
地域の交番の方と住民の交流を図るような行事が増えるといいと思う。	西区
町民全員に防犯意識をもっと向上してもらう。公民館まつり等に防犯として参加し活動を広める。パトカーや青パトによる朝から夜中までの見回り強化。	東区

名 称 広島市安全なまちづくりに関する
地域防犯活動団体アンケート調査報告書

発 行 広島市市民局市民安全推進課

所 在 地 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6-34
電話 082-504-2714
FAX 082-504-2712

発行年月 令和7年3月

登録番号 広 C2-2024-491